

商 況

販賣旬報 第184號 昭和7年1月21日

製鐵所販賣部

第2回標準値段發表—1圓下げ

輸入値段は本春に入りてより 沖着原價に於て若干の値上りを示しつつあるのみならず、爲替相場は舊臘に比し急激なる下落を告げたるを以て厳格なる外注追従主義に據るとせば標準値段に於て、4、5圓方の値上を發表せざるべからざる筋合なるも内地は新春勿々のことゝて實需の傾向、市場の向背未だ定かならず、旁々前途なほ昂進の餘地あることを指針するに止むる 目的を以て各品目を通じて1圓方の値上げを發表せるに止めたり。

昭和7年1月7日發表標準値段

角鋼、平鋼	山形鋼	工形鋼	溝形鋼(耗物)	〃 (時物)
62圓	62圓	62圓	62圓	71圓
(1圓上げ)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)

2、3月積先物賣行—申込2萬噸—

12月12日と云ふ際どい處で締切つた、2、3月積の先物は種々雑多な思惑が働いて、申込總噸數19,991噸となつた。

何時もの申込は揚地別品種別に區分されるが今回は特殊の状態にあつた爲め申込者も之を整理する餘地なく一括したもとなつたのは残念である。

今迄の経過状態を見ると1箇月3,400噸の先物申込が常態の様に考へられるが之れから判斷すると5、6箇月分の數量と見て差支あるまい。

また引受數量は別表の通り16,296噸であるから少くも平常の4箇月分位には相當する數量である。

此が將來如何なる結果を招來するか、積出し状態にも據ることであるから一言には云へないが相當の警戒を必要とするのではあるまいか。

2、3月積先物引受高

工場別	1,2小形	3小形	1中	2中	1大	2,3大	4型	合計
角鋼	591	—	249	26	—	—	—	866
平鋼	653	—	771	—	—	—	—	1,424
山形	—	—	—	—	—	4,275	—	4,275
不等山形	—	—	234	348	10	2,127	—	2,719
溝形	—	—	—	918	1,640	1,367	411	4,336
工形	—	—	—	—	—	2,343	333	2,676
合計	1,244	—	1,254	1,292	1,650	10,112	744	16,296

ピッチと純ベンゾール

1、ピッチ好調 各社の生産過剩から多年受難時代を繰

り返し一頃某所輸出物の如き10圓割れまでを傳へられた内地のピッチも、鐵鋼界の不振に伴ふ各社の生産漸減に、飛んだ拾ひ物をして昨年秋頃から久し振りに「ピッチ好調」の聲を聞き、固型燃料原料としての季節的需要増加に巷間相當高値を稱ふるに到つた。

當所ピッチも一時は在庫品1萬噸を突破し僅に輸出により當面を凌いで來たが、一昨年末以來の自然減産と品質の優良を生命とする燃料廠向大口契約及び輸出繼續によつて、さしもの手持品も完全に賣盡し1部のベーは引續き底を見せて居る。其後市場の氣配に刺戟せられ昨冬以來續々新規大口商談に成功し近來にない好調を持續しつつある本年度の新契約數量次の如し。

契約6年	7年1月						
時期	4月	5月	8月	10月	11月	12月	1月(内定)
契約數量	10,000	500	5	100	100	5,000	1,500 4,000

備考 以上は昨年12月受渡完了の輸出向4,000噸を含まず。

1、純ベンゾール及純トルオール昂騰 染料原料として重要な地位を占める當所純ベンゾール及び純トルオールは、染料界の協調宜しきため一昨年末以來再び需要激増し必需方面より供給量の大増加を切望せられて居るが生産豫定高減少の折柄相變らず制限引受の餘儀なき状態にある。特に純トルオールは昨冬來飛行機燃料不凍用材として特種方面からの需要急増に在庫品一掃せられ全く増産の必要に迫られて居る。今期(自1月至6月)渡價格は從來同様當所モーターベンゾール及ソルベントナフサの價格を基礎として去月末次記新價格を發表した。

純ベンゾール 212圓 純トルオール 317圓

備考 各八幡工場渡容器付1噸單價

尙最近の各月生産豫定量次の如し、

純ベンゾール 約240噸 純トルオール 約30噸

關東鋼材販賣組合の規約改正 豫て組合機構の強化を謀る目的を以て従前の販賣プール組織を生産プール組織に改むべく協議中であつた關東鋼材販賣組合に於ては客歲12月26日大要別項の通り決定し昭和7年1月1日より實施することになつた。

關東鋼材販賣組合改正規約要項

1、名稱 關東鋼材販賣組合

1、目的 丸鋼の生産統制並に販賣管理

1、加盟會社 日本鋼管、釜石鑛山、富士製鋼

1、事務所 東京市

1、統制方法 (1) 鋼材聯合會の生産割當高を生産す

(2) 組合員の生産する丸鋼全部を工場渡にて買取り組合の指圖に依り指定販賣人をして之を販賣せしめプール計算を爲す (3) 製鐵所製 100mm 以下丸鋼の註文集收及販賣値段の決定を爲す (4) 補償及罰則規定、實産高が生産割當高に對し過不足を生じたる時は補償及罰則規定を適用す (5) 損益は生産高に按分計算す (6) 検査員、各社の工場に検査員を常置し生産高其他必要なる事項を検査せしむ

1、機關 (1) 理事會 各組合員より推薦したる 1 名宛の理事を以て理事會を組織し組合の業務を執行す製鐵所代表者並指定販賣人は組合の販賣事務に參與す

(2) 總會 毎年 2 回開催す

1、存續期間 昭和 11 年 12 月末日迄 (5 箇年間)

備考 本組合は重要産業統制法に依り商工省より全國的共販組合として認定せられ其適用を受く

黒鉄共販理事會—1、2 月積賣出し

月日場所 昭和 6 年 12 月 19 日於大阪

出席者 川崎、日鋼、徳山、中山、製鐵

主なる議事 1 月積薄物及厚物賣出しに關する件

1、薄物部

A 値段 12 月 13 日金輸出再禁止以後爲替の變動甚だしき爲め輸入品の換算區々なるも 1 月着及 1 月積英國品の價格は大略次の如くにして 市中現物相場は禁止直後一時暴騰せしも其後次第に弱く 130 圓乃至 128 圓見當を稱へ居るを以て是等の點を參酌し次の通り決定した。

川崎標準 13 枚物 1 噸に付

3 呎×6 呎 127 圓 50 錢 12 圓 50 錢上げ

30 吋×6、7、8 呎 126 圓 13 圓 50 錢上げ

川崎以外の格差 各 1 圓

B、賣出數量及輸出物 賣出數量發表せず。輸出物は賣出を爲さず。

C. 締切 12 月 22 日締切 23 日發表

D. 外注値段

British Black Sheets (@ k. t. 280 sheets)

Jan. Arrival		Jan. Shipment	
c. i. f.	£ 10-11-6	c. i. f.	£ 10-11-6
Ex. @2/5	¥ 87.52	Ex. @2/2-1/2	¥ 95.77
Int. 1.4%	1.23	Int. 1.4%	1.34
Duty	32.22	Duty	32.22
Charge	1.30	Charge	1.30
	¥122.27		¥130.63
@ sheet	0.436	@ sheet	0.4665
268 sheets	117.03	268 sheets	125.02
Com. 1½%	1.76	Com. 1½%	1.87
	¥118.79		¥ 126.89

尙從來輸入浪銀原銀は 3×6 物より 5 志安なりしも最近 2 志 6 片安の入電あり依て共販建値も今回は 1 圓 50 錢安に止めたり

2、厚物部 A. 値段 川崎標準 1 噸に付き

12 枚物	123 圓	10 圓上げ	7 枚物	114 圓	4 圓上げ
11 枚物	121 圓	9 圓上げ	6 枚物	112 圓	5 圓上げ
10 枚物	119 圓	8 圓上げ	5 枚物	102 圓	4 圓上げ
9 枚物	117 圓	6 圓上げ	4 枚物	98 圓	2 圓上げ
8 枚物	116 圓	〃	3 枚物	94 圓	据置

浪銀厚銀格差同値從前通り

B. 賣出數量 輸出物、締切等薄物に同じ

但し製鐵所は 10 枚物に限り賣出しを爲す。

C. 雜件 4 社より次の希望あり。

1、浪銀幅 29 吋半に變更願度し。(外注對抗の爲め)

2、4社外注統制の件 (4 社は一切外注を爲さざることになり居るも之が爲アウトサイダーの跋扈となり却て思惑を助長する結果となるに付き共販の許可を得て 4 社に於て外注を統制し度しとの案)

3、8 月積以降輸出免狀提出期限延長の件 (排日貨の爲輸出出來ざるにより) 以上希望案 1、2 は孰れも共販にて研究のこと、3 は 7 年 1 月未迄延期することに決し其旨回答せり。

黒鉄共販理事會—1、2 月積締切

月日場所 12 月 23 日於大阪

出席者 川崎、日鋼、徳山、中山、製鐵

主なる議事 1、2 月積締切に關する件

他の鋼材は今回の圓爲替の暴落を目指して前回に比し 5 倍 10 倍の申込殺倒の有様なるに、思惑の中心をなす此の黒板が譬へ輸出向が無いにせよ、只の 1 萬 3,000 噸と云ふ僅少な申込に留つたと云ふことは寧ろ不思議であるが、此締切當時は爲替の歸着點も明瞭ならず一擧 12、3 圓上げと云ふ此賣出値段は相當高値に付くを以て思惑を誘ふだけの間隙もなく、恐る恐る申込んだ爲め斯る結果となつたものと見られ、結果論からすると此賣出し値段は非常な成功と云ふことが出来る。

從つて此申込數量は全部引受けに決定した。

(イ) 薄物部 内地向

製造者別	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
申込數量	7,460 噸	2,070	2,050	1,178	120	12,878

輸出向 賣出しなし。

(ロ) 厚物部 内地向

	川崎	製鐵	徳山	日鋼	計
	2,241 噸	60	1,868	484	4,653

1、2 月積線材の締切—申込 1 萬 2,000 噸

激減に亞ぐに激減を以てして猶市場の安全を得ず、前月の如きは遂に申込は 2,400 噸と云ふ未曾有の僅少なる

申込となり、暗憚として賣手、買手共に恐怖に襲はれて居たが 1 日にして天下は陽春となつた様に 1、2 月積は 1 萬 2,000 噸の申込と出現して、然も 1 月に入つても猶市況は他の鋼材に比して益々堅調を傳へられて居る。其原因は勿論輸入の杜絶にあり 猶共販の態度堅實な爲め先行の輸入も大した數量ではあるまいと見られて居るが、根が水商賣の事、理論通りは運ばぬ故將來に對しては決して安神のみして居られず油斷は大敵と云はれて居る。

引受は別表の通り 10,915 噸に決定した。

必要あるを以て外注値段とは懸け離れた値段に決定された。

3mm×20mm 73圓 6圓上げ	5mm×30mm	} 59圓 4圓上げ
3×25	5×40	
3×30 } 68圓 5圓上げ	4×45	
3×40	1/4" × 1 1/2"	
	6mm×45mm	

外注値段

C. I. F. 河岸着(\$35)

3mm×20mm \$ 19'50	¥ 75'03
3×25 18'30	71'66

昭和 7 年 1、2 月積線材申込及引受數量

内譯 店別	神戸製鋼				製鐵所					計					
	東京	大阪	名古屋	計	東京	大阪	名古屋	八幡	計	東京	大阪	名古屋	八幡	計	
申 込 日 計	三井	—	400	—	400	1,340	—	65	—	1,405	1,340	400	65	—	1,805
	岩井	—	610	—	610	300	395	65	—	760	300	1,005	65	—	1,370
	安宅	—	1,850	—	1,850	825	875	—	50	1,750	825	2,725	—	50	3,600
	日商	200	1,730	—	1,930	750	850	—	—	1,600	950	2,580	—	—	3,530
	計	—	1,500	—	1,500	100	100	—	—	200	100	1,600	—	—	1,700
引受計	200	6,090	—	6,290	3,315	2,220	130	50	5,715	3,515	8,310	130	50	12,005	
引受計	—	5,200	—	5,200	3,315	2,220	130	50	5,715	3,415	7,320	130	50	10,915	

1、2 月積小型山形の締切一申込 4,000 噸

12 月 15 日締切つた小型山形も他鋼材同様に値上りの煽りを受けて俄然申込殺到し遂に 4,000 噸を突破した、前月の 366 噸などに比すると世界が異なる様に感ぜられる。共販にても工場能力及市場の需給状態を考慮して引受數量は次の通り 1,091 噸に査定した。

1、2 月積小型山形申込及引受數量

	東京	大阪	名古屋	門司	其他	計
申込	1,748	2,109	220	51	15	4,143
引受	480	450	100	51	10	1,091

小型山形鋼共販理事會 — 2 3 月積賣出し

月日場所 1 月 11 日製鐵所東京出張所
出席者 製鐵所、釜石及三井物産代表者
主なる議事

1) 組合存続の件 組合の存続期間は 9 月に於ける決議により昭和 7 年 3 月 31 日なりしが本日の理事會に於て向ふ 6 箇月間即ち昭和 7 年 9 月 30 日迄現在の條件にて存続せしむることに一致可決した。

2) 2、3 月積値段 外注値段は別表の通り C. I. F. としては前月に比し 1 磅乃至 10 志方安値を報ぜらるゝも何にせよ此圓爲替の暴落あるを以て河岸着値段は遂に 10 圓以上の高値となつた。

組合としては理論的に云へば此外注値段近くまで値上し得るも、餘り急劇の値上げは市場への影響も考へらるゝを以て今回は相當下値の次記に決定した。

猶 8/10 厚以上はアウトサイダーの態度も考慮に入るゝ

3×30	18'00	70'82
3×40	18'00	70'82
5×30	18'00	70'82
5×40	17'00	68'00
4×45	16'75	67'30
1/4" × 1 1/2"	17'00	68'00
6mm×45mm	16'50	66'60

3) 賣出數量 此際なるを以て發表せず申込數量を見た上決定することゝせり。

2、3 月積小型山形の締切一申込 2,500 噸

1 月 16 日小型山形の締切があつた。今回の暴風は今迄至極穩健な調子を辿つて居た小型山形まで襲來して前月の申込 4,000 噸今月の申込も次の通り復も 2,500 噸に近い數量を表はした。

2、3 月積小型山形申込數量

東京	大阪	名古屋	門司	其他	計
833	1,373	163	27	27	2,428

然も大阪方面では相當引受けねば伸鐵の活躍範圍を擴張する患があるから是非引受けて欲しいと云ふ注意書までであると云ふ、今迄經驗した事のない事實まで出て來た。

共販としては市場の將來も考慮して 1,300 噸引受けの事に決定した。

揚地別引受數量

大阪	名古屋	東京及其他	計
737	103	460	1,300 噸

中型山形共販理事會 — 2、3 月積賣出し

月日場所 1 月 12 日製鐵所東京出張所
出席者 日本鋼管、東海鋼業、製鐵所及定期關係者
主なる議題 2、3 月積中型山形鋼賣出に關する件

1、値段 外注値段は爲替關係により高値にあるも、市中相場は未だ之に追従し得るまでに至らず、爲替其のものも安定を缺き居る際なれば急劇なる値上げは差控へ、除々に外注値段に近づくと云ふ穩健なる方法による意味より今回は 58 圓にせられたしとの買手側の熱心なる要望あり。

然し組合側の意見としてはあまり外注値段と懸絶せる安値を發表することは市場の騰貴を挫折せしめ結局買手側の擁護とならざるを以て 60 圓程度を主張したるも折り合はず、遂に買手側は組合の親切心を買ふ意味を以て 59 圓希望を提出し、次記値段に決定せり

次記 2、3 月積中型山形鋼賣出値段
等邊山形鋼 59 圓 不等邊山形鋼 60 圓

2、締切 19 日

中板共販理事會—2、3 月積賣出し

月日場所 1 月 9 日製鐵所東京出張所

出席者 東海、製鐵及 4 社

主なる議題 2、3 月積中板賣出しに關する件

1、値段 別紙外注値段の通り C. I. F. は寧ろ漸落に不拘、爲替關係により前月に比し 10 圓以上の高値となり市中も亦強氣配にあるも一方此機に外注に食指を動かす向もあるやに見ゆるのみならず、爲替の變動も甚だしき折柄なるを以て其點を考慮して賣出値段の決定をした

2、數量 發表せず。

3、締切 1 月 23 日 外注値段次の通り

	Feb. march.	Ex. 35½
Plate 45mm	\$ 19.25	¥ 73.58
32mm	19.50	74.27
23mm	23.00	88.98
16mm	23.50	90.36

厚板共販の臨時引合の引受 — 1 萬 3,000 噸

前記記載の通り 12 月 15 日の理事會の際の臨時申込は 22,300 噸に達したが之には勿論多分の思惑買が含有せらるゝを以て將來の爲めには相當是れを抑制するを妥當と認め引受數量は共販成立當時査定せる正當需給數量 12,000 噸を標準とすることに決定し積月は 1、2 月積とせり。猶一般需要家方面の臨時引合及其他の特殊品に對する引合値段も相當引上げを行ひ外注値段の變動に伴ひ適宜善處することとせり。

1、2 月積引受數量

耳付	切板	定尺	計
7,320	4,528	1,548	13,396

昭和 6 年中の三港輸入—復々半減

1) 世界的經濟不況の度は昭和 6 年に到つて益々激しく皆物身動きの出来ない状態にまで追ひ込まれた。

御多分に洩れずと云ふよりはむしろ悪い意味で一頭地

を擡んで、不況の反映を蒙り、業界は全く屏息の態に近く外電は一報毎に安値を告げるは、需要は激減するまで折角築き上げた各種共販の力も此大勢を支へるに術なく内地建値も發表の都度落調急にして光明の片鱗をさへも見せず常夜の闇に絶望の年を送つた。

2) 17 萬 6,000 噸—昭和 5 年に比し官民合計 27 萬噸の減産にも係はらず、世界的不況が需要の減退となり需要の減退が底止するなき安値を來し而も前途に少しの光明をも望み得なかつた 6 年の 3 港鋼材輸入數量が是れである。嘗ての歳 100 萬噸前後の輸入を見てゐた頃に比すれば驚異を超越して信仰にも似た何物かを感じさせられた。

3) 輸入が減退し始めたのは昭和 4 年からである。

尤も、3 年中は世界の鐵鋼界は好況で殊に爲替の値下りと、復興計畫と云ふ御景物まで付いて居た我國では 3 港輸入 70 萬噸前後を鱈腹詰め込み、年々増産に増産を重ねて居た際とて不況の來襲、需要の漸落に一たまりもなく崩壊への一步を踏み出したので臆み切つてゐた腫物のやうに針先の一刺にも堪へられなかつたのである。

昭和 4 年の 3 港輸入 62 萬 4,000 噸に對する、5 年の 31 萬 8,000 噸の輸入數量を見た時此の邊が 3 港輸入の最少限度ではあるまいかと思はれたが、6 年の數量が復々前年の約半減と云ふ數字に遭遇しては不況が從來のやうでなく内地製鐵界がもう一段と整備されない限り、且 6 年上半年期の輸入が過少とも思はれるので 17 萬噸臺の輸入に止まるとは考へられないが、今となつて顧みれば好況、内地生産力其他の條件を考慮に入れても昭和 4 年以前の輸入數量は過多で最早「思惑華なりし頃」を偲ぶ遺跡となつた事を認め得ざるを得ない。

4) 内地生産額 輸入額(3 港) 合計(單位 1,000 噸)

昭和	3 年	4 年	5 年	6 年
生産額	1,593	1,853	1,787	1,517(推定)
輸入額	700	624	318	176
合計	2,293	2,477	2,105	1,693

上表の示す如く昭和 4 年は増産の途上不況に見舞はれたので生産額は増加を來し且下半年より不況の影響を蒙り始めたので、4 年中の輸入としては其の減少の量も少額で前年に比して生産、輸入合計に於て 18 萬 4,000 噸の増加を示して景氣轉換期困迷の狀を窺はしめ輸入の飽和状態を暗示してゐる。

5) 6 年に至つては夫々前年よりも 4%と 15%の減産に加ふるに輸入は兩年約 50%と云ふ半減で需要額とも見られる生産、輸入合計に於て前年に比し 5 年は 37 萬 2,000 噸、6 年は 32 萬 2,000 噸の減少を來し年々約 20 萬噸需要増加の原則に逆行して鐵鋼界受難の相を現はし同

時に減産よりも先づ輸入減に活路を求めた事を知る事が出来る。

6年の内地減産數量の大部分は製鐵所の減産で製鐵所なればこそ多大の犠牲を拂つて敢行したので官民共に品種に依つては増産の計畫あり且つ生産餘力をも藏してをるので一度原状復歸、活動の機運到らば如何？

輸入の行く可き道は自ら暗示されるのではあるまいか。

將來の輸入状況の豫斷は困難だが鐵鋼國策が漸時確立し販賣統制宜しきを得而して景氣の恢復が徐々に來ると云ふ事を前提とすれば次の數字は闇夜に螢火位の參考ともなうか。

3 港 輸 入 數 量

四 年	上半期	345,956	五	上半期	221,072	六	上半期	71,047
		比 率			100			比 率
	下半年	278,424	年	下半年	97,195	年	下半年	105,224
		比 率			80			比 率

(此率は昭和4年上半期を100とす)

此の表に見る通り4年の不況襲來より6年上半期までは減少の一路を辿つて居たが6年下半期に至つて此の傾向は破れて居る。

5年上半期に比し6年上半期は15萬噸の激減であるのに兩年下半期に於て6年は却つて8,000噸の増加であり、6年下半期は6年上半期に對しても3萬4,000噸の増加を示して居る。然しながら5年乃至6年の輸入合計に於ては6年は約半減に近い數字を示し尙又個々の品種に就ても線材の僅少の増加を除いては6年は5年に比し例外無しに減少して居るので即ち總體的には品種別にも5年の數量よりも減少の運命にあつて其の色彩を上半期に於て過度に表はし下半期に於て調節したもので、此傾向を眺める時現在の状態に於ては輸入數量も愈々落ちつく先を見出したのではあるまいかとも考へられる。

5) 昭和6年中の三港輸入は5年に比して復々約半減に近い激減である、此處まで來れば自給自足の域に踏み込んだと云へよう、不況が然らしめた餘儀ない結果と一笑に附し去るには餘りにも犠牲と苦澁を各方面共享受して來た冀くばメーカー、問屋、實需家三位一體となつて輸入驅逐、鐵鋼國策確立の旗幟を翳し再び前轍を踏まざるやう精進したいものである。是れこそ共存共榮以て將來共に永く生きるの一法ではあるまいか。

6) 別表三港鋼材輸入數量表に就き品種別に見るに特筆すべきは型物とシートパイリングとの激減である。

シートパイリングは4月以降は本所製品が賣り出されたので4月迄4箇月間の輸入數量4,446噸、5月以降8箇月間の輸入2,952噸と本所品製作後急激に減少してゐる。

他の鋼材が一様に尻上りの輸入増加を示して居るのに引き代へてシートパイリングのみ減少の一路を辿つてゐるのは全く待望久しかりし國産品賣出しの影響で製品の出廻りさへ順潮に運べば將來尙減少せねばならない物であるが、製作技術が至難で且つ目下の製品は一種に限られてゐるので、1箇年の需要3萬噸生産力1萬8,000噸の數字から歸納すれば製作方面の問題の解決されぬ限り今後の需要の増減は直接且つ速に輸入に反映せざるを得ないであらう。

減少の横綱は等山と不等山で、前年に對して6%溝形は10%、工形は20%の輸入で正に激減である、他に型钢として丁形鋼及バルブアングルが夫々約450噸宛輸入されて居るが前者と共に何れも造船材料・其他實需が大部分を占めてゐるので型物は全く自給自足に入つたと云へやう。

次に減少率の素晴らしいのは鋼板0.7mm超である、4年の49,600噸5年の36,500噸に比して6年は6,600噸と云ふ僅少な數量で減少の主要原因は國內販賣統制確立にある。

輸入の大部分は特殊鋼板で國內に於て生産して居らないものであるが是れも製作の氣運が動いて居るので追々と驅逐するに到るであらう。

丸鋼は前年に比して約半減9,000噸となつた、昭和4年の62,300噸から見ればよくも減つたものである、 $\frac{3}{8}$ " 6mm等の細丸が多量を占めて居るが全く不況から來た内地の生産原價の不採算に依るので景氣轉換して却つて減少を考へられるし、關東鋼材も販賣プールから生産プールにまで進展されたので極く特殊な物の他は愈々輸入の跡を絶つに至るのではあるまいか。

角、平共に消費方の黴いものだけに輸入に就ても大して書くべき材料もない。鋼板0.7mm以下は280枚なぞの安物が現れて一時成行を懸念されたが共販必死の努力と相俟つて生産餘力を充分に有して居たので約2萬噸となり1萬噸に近い減少を見た、矢張30番が最も多いが30番以下の薄物が相當の量に上つてゐる。他の品種に就ても觀取される事であるが輸入品が追々と特殊な物へと其の範圍を狭められてゐる傾向を示して居るので本邦鐵鋼界も愈々成熟期に一步を入れたのだと一應は自惚れて見度くもなる。

鉄力は減少率最も少ないが現在の日本の生産力では是れも致し方があるまい、然し民間でもポツポツ製作を畫策してゐると云ふし行々は製鐵所の増産開始の聲も聞くので將來を樂しみそれ迄は此の程度の數量は止むを得ないであらう。

軌條は半減して4,000 吨臺になつた、國內1箇年の生産數量から見れば極く少量である、其の重なるものは特殊なもので早急には何とも致し方が無いとして需要筋も判然してゐるし且つ技術的に解決出来る問題なので慫には是れも將來は影をひそめさせ度いものゝ一つである。

本年の増加に線材がある、僅150 吨ばかりではあるが增加してゐる是れ亦現在の供給能力15 萬吨前後の状態では萬止むを得ないが近く民間約10 萬吨増産されるので鉄力と共に漸次改善され業者悩みの種の少くなるのは誠に喜ばしい、然し此兩者共に少し風向がよくなると直ぐ輸入に喰ひつきたがる代物であるから油斷大敵で好況來氣構の今後に戒心をなす要がある。

鋼管は前年の約40%となり減少持續の傾向は頼もしい「其の他」と云ふのは「電氣鐵板」、「縞鋼板」、「丁形鋼」、「バルブアングル」、「六角鋼」、「八角鋼」、「半圓鋼」、「繼目板」、「特殊鋼」、「外輪及車軸」と「其の他」の事である。

特殊鋼2,800 吨、電氣鐵板2,200 吨合計5,000 吨で此の兩者で大部分を占めてゐる。是れを要するに本年の輸入は異常なる少額となつたが是れは決して常態ではなく他に種々の原因はあるが其の最大なるものは古今未曾有の世界的不況に依る需要の枯渇であつた。

従つて今後は景氣恢復と爲替變動等の思惑により或は此程度を保つことの期待が出来ないのであるまいかと憂慮されるが本年の輸入減少の裏に我國の徹底的外注値段追隨主義と統制を要する品目全般に互る各種共販確立に伴ふ我國業界の他大なる犠牲と努力があつた事も亦見逃してはならない。

ブラツセル齋藤囑託通信 7年1月9日入電
市場には何等變化なし、相場次の通り

棒鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S.)	鋼板(3/16")
2-13-0	2-13-0	2-14-0	2-13-6	3-5-0

7年1月16日入電 相場は愈々大底を突いたと見られ従つて尙此上の値下りは豫想されないの市場の氣配は稍良好である。

棒鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S.)	鋼板(3/16")
2-14-6	2-13-6	2-14-6	2-14-0	3-5-0

國際鋼塊組合は巴里に於て會議を開き 工形鋼と半製品を其統制目的とする國際鐵鋼販賣組合の再設置に關し論議した。

6年12月10日發信

○國際鋼塊カルテルに就て 前報の國際鋼塊カルテル本年一杯の暫定的取決めは先週のブラツセル會合にて更に

來年3月迄延長することに相成りたる由。

○國際鋼材共販機關設置に就て 12月3日ルクセムブルグに於て鋼塊カルテル加盟國の委員會開かれ一時中絶の姿なりし製品共販機關設置の下相談を行ひ第一に半製品並に工形鋼共販組合成立を急ぎ來る12月19日の巴里次回會合にて成立を見る筈。

○國際軌條カルテル前値維持 前項と同日にイルマ委員會も同じルクセムブルグに於て開かれ去る10月倫敦に於て取決めし値段を維持すべき決議をなしたり。

即ち £ 5-17-6 (gold, fob. Antwerp)

○國際電線製造業者輸出共販機關愈々成立 線材共販機關に次で製線業者間に製品の輸出共販機關設置の必要を認め過般來交渉中なりしことは既に御報申上し通りに候へ共愈々成立を見其の本部を當ブラツセル市に置き歐洲大陸主なる製線業者全部を網羅し輸出取引を總合的に統制するを目的とし幹部は獨逸、チエツコ、ルクセムブルグ及白耳義の代表者より成る即ちクルツのホプレツカー氏組合長、ポールベツテ氏副組長(以上獨逸)クルーリス、ラング氏副組長(チエツコ)其他の幹部はルクセンブルグよりアルベトの重役ドロリー氏を白耳義よりウグレーのベカール氏を夫々代表者として送り居り數量割當は50%獨逸35%白耳義殘餘の15%は各國にて分割せらるゝものと見られ名稱は英名によれば未確定なれども多分 International Wire Export Co., “と登録せらるべく略稱は I W. E. Co.” なるべしと云はれ居候

本規約有効期間は來る1月1日以降の由。

6年12月11日發信 市況は益々惡化四圍の事情は一層人氣を沮喪せしめ且年末に近附きたるため商談更になく各メーカーの損失も少からず閉鎖工場數益々増加致し居候

商談なければ相場はほんの名目のみにて尙 buyer にて firm offer をすれば尙 2,3 志安にて取引する始末に御座候

	Export	Inland
Bars(base)	£ 2-14-0	fr. 520
Angles(“)	2-14-0	520
Joist N. S.	2-13-6	510
“ B. S.	2-15-0	525
Hoops (base)	3-10-0	—
Wire Rods	5- 5-0	850
Plates 5 mm	—	630
“ 3/16”	3- 7-0	—

6年12月18日發信 市況は不相變無爲閑散を極め且年末近き爲め來春迄は此儘推移するものと存じ候

東西市況一戻り賣氣分

昭和5年1月金解禁以來約2年間相場こそ悪くはなつたが、爲替の浮動が無くなつて、それによる相場の變

動だけは殆んど考慮外に置かれて来たが、先月以來再び之を相場に扱ませなければならぬと云ふ、面倒が生れて本年に入つても未だ正金の發表はないが、34弗附近から38弗位の間を往來してそれが變る度に、樂觀したり悲觀したり誠に猫の目の様に急がしく變化して來て居る、數日前も米國の金輸出禁止説が流布されて其の前日迄35弗近くであつたものが一舉に38弗位まで鰻上りに昇り、熱がさめると36弗迄反落すると云ふ有様である。

相場としては値段が訂正されたと云ふだけで、奔騰、反落、硬化、軟化と繰り返して居る、それは實需の擡頭とか、C. I. F.の昂騰などと云ふ自力に依つたものでなく單なる爲替の變動に依つてなされた爲で、誰れしも先行に對して懸念を持つのは當然の歸結であるから、枯葉のそよぎにも先走りがなるのは已むを得ない現象と云へよう、従つて店によつての開きも多く成行の捕捉が困難である。

今日の處は大なる變化も認められないが、これから先ドサクサ紛れに抱へ込んだ品物が入荷を見る様になつて將して今日の様な平靜な状態を保ち得るか疑問であると見て居る筋もある。然し正月早々は一寸御祝儀相場の氣味で高値を呼んだが其後追々と落ち付きとなり大觀して2,30錢の引緩みを見せた。それはそうとして、5年振りで屠蘇を味つたのは何よりお目度い事と祝福する。

東京市況

丸鋼 6mmは此邊で安賣もなればさりとて、抄々しい賣行もない。9mmも高値のまま賣行不振で氣持としては寧ろ弱いと見られて居る、12mm品薄駢り。惱みの種はベース物の在庫漸増懸念による不振と云ふ事である、何としても此王座が好轉しないでは鋼材全般の空氣を改善することは困難である、50mm以上は手持薄が續いて小堅い商状を保つて居ると見られて居る。

角、平鋼 角は2 $\frac{1}{2}$ や2 $\frac{3}{4}$ の太いものが品薄で小駢りと、15mmが一時高値を呼んだ外は平凡である、平は $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{2}$ を除けば底力ないと見られて居る。

型鋼 中型等山の出廻り未だ順調ならざる爲め異状の高値を保つて大型物より上鞆にあると云ふ逆現象を呈して居る、大型はベースに比すれば下這つて居るが賣行の振はない割には駢りを傳へられて居る、不等邊は $\frac{1}{4} \times 2 \times 3$ が6圓90錢、 $\frac{3}{8} \times 3 \times 3\frac{1}{2}$ が6圓60錢と硬調であるが其他は大體此邊と見られて居る、溝形の生命は可成り永いが、今でも型鋼中で光つて居るのは溝形で 3×6 が不相變高値唱への他に $\frac{3}{8} \times 3 \times 7$ は殆んど品切れに8圓搦みを呼んで居る、在荷も一般に少ないと云はれて居る。工形は $\frac{1}{4} \times 3 \times 4$ が6圓60錢であるのと 4×8

の駢りが目立つて居るが、一般的には不變。

鋼板 中板は共販賣出制限の聲に益々好調を辿つて居るが、目先相當の入荷を控へて此邊が峠と見て居る筋もある、1.6mmは一寸行き過ぎの感があつて此處數日一寸腰折れと見られ、2.3は手持なく現物は駢り、3.2は此邊に下支への氣味で4.5は在庫聊か潤澤な爲め下押氣配を馴致し、6.0mmは不相變の品薄に好調を續け9mm以上不變。「附記」別表東京、大阪市中相場表中薄鋼板「米物」は殆んど輸入もなく成行も不明なる爲め今旬より除くことにした。

大阪市況

丸鋼 明けて昭和7年を迎へ、我鋼材市場人は宛も長きトンネルを出でたる心地がすると囁き出した。實際不況のドン底に喘いでゐた我鐵材も舊臘突發した内閣更迭による金の再禁止により一躍跳上つたまゝ、越年し新春匆々には皇軍錦州入城の報に接し市中の氣配を硬化せしめた。相場はとも角高いがさて之に對して實需が伴はざる爲め案外不活撥の商状を呈し恰も陽氣に浮かされた狂ひ咲きの花のやうであるが、やがて來るべき萬物凍る嚴寒の夜に、みじめに凋む時をも考慮せねばなるまいと云はれて居る。ベース物賣行抄々しからざる爲め市中ストック漸増の態にて先物値段發表もさして響かず。中丸は市場品薄とあつて6圓4、50錢を唱へられ共販の賣控へも織込まれ目先期待すべきものがある。太丸は爲替下落に伴ひ外註杜絶にて7圓80錢見當を唱へられ概して賣惜みの様子である。

初夢や獨り占うて曰く吉

角、平鋼 角鋼は總じて品掠れにて氣配は駢りを示し25, 32, 38, 44, 等は皆無にて従つて相場は7圓以上を唱へられてゐる。平鋼は先高を見越し賣手強腰なれ共伸鐵物に押されて茲許伸び惱みの態と云はれてゐる。3 $\frac{1}{2}$ 以上は極端なる品掠れにて6圓3、50錢と小堅い。

型鋼 小型アングルは在庫普通にて相場も7圓1、30錢を唱へられ先づ順當なる歩調を辿つてゐる。中型は概して品拂抵にて殊に 2×3 等は品切とあつて小口商内ながら7圓搦みに取引されてゐる。大型山形鋼は相變らず手當薄にて相當高値を唱へられ且つ目先建築方面よりの需要擡頭豫想の下に市況は幾分引締つた模様である。溝形鋼は品薄にて7圓2、30錢に取引され工形鋼は本國高を移して相場も小堅い。

鋼板 一中板は昨年末來非常な期待を以て越年した品物丈けに目下手堅き商状を呈してゐる。1.6 9圓50錢 2.3 9圓30錢 3.2 8圓を唱へられてゐる。2中板 4.5は當所品出廻り不順調にて相場も7圓4、50錢カツチ

リと云はれてゐる。厚板は弗々入荷あるも 順次消化されて商内は比較的スムーズに行はれてゐる。

線材 目下外註品の取引は盛んに行はれ従つて相場は 83 圓と光つてゐる。國産品も別表の如く相當高値を唱へられてゐるが實需伴はざる爲に商内は振はず。

鋳力板 先物値上げ發表のため 市中相場も之に追隨して反撥を見せてゐるが何分にも 目下不需要期のため氣配は呆りと云はれてゐる。

販賣旬報 第 185 號 昭和 7 年 2 月 1 日

製鐵所販賣部

中型山形共販理事會一 2 月積締切

1 月 21 日

中型共同販賣組合

3、4 月積先物協議會

1、日時 昭和 7 年 1 月 14 日

1、場所 大阪平和俱樂部

新春でもあり再禁止後の最初の協議會であり、集る人の意外に多いのが何となく心強く嬉しく感じられた。再禁止論の鋼材に及す影響なんて云ふ事は暫く措き、爲替安に依る外註の強調は誠に凋れ切つて居る 内地市況にぐんと蘇生劑の役目を遺憾なく發揮して、空景氣云々と非難はあつても昨冬來人の歩みもめつきり繁くなつた。

販賣部の適應した手段によつて、心配して居た外註、

定期契約 2 月積申込高

申込者	(責任數量 ± 10 % 差支なし)	三菱 (4,800) 噸	岩井 (250) 噸	安宅 (150) 噸	岸本 (100) 噸	岡谷 (550) 噸	伊藤(信) (100) 噸	伊藤(宗) (50) 噸	總計 (6,000) 噸
京濱場	等邊	2,273	90	50	95	505	20	50	3,083
	不等邊	28	—	—	15	—	—	—	43
阪神場	等邊	2,406	135	65	—	100	—	—	2,706
	不等邊	344	—	—	—	—	—	—	344
伊勢場	等邊	125	—	—	—	—	75	—	200
灣場	不等邊	—	—	—	—	—	5	—	5
關門場	等邊	44	50	50	—	—	—	—	144
	不等邊	—	—	—	—	—	—	—	—
總計	等邊	4,848	275	165	95	605	95	50	6,133
	不等邊	372	—	—	15	—	5	—	392
	計	5,220	275	165	110	605	100	50	6,525

市況先物値段の間に起り得たかも知れぬ大きなギャップを完全に防ぎ得て、毎週發表する標準相場に追隨して市況は全般的に高騰して

月日場所 12 月 21 日 於製鐵所東京出張所

出席者 日本鋼管、東海及製鐵

主なる議事 2 月積申込締切の件

19 日締切つた 2 月積の中型山形の定期申込數量は次表の通りである。賣出しの協議會の折賣手側としては、高値にして賣出數量を 1 割減とすること、即ち市場手持を差控へしむるが、市場將來の爲め益することあるべきを主張したるに對し買手側は安値にしても買控へたら宜しかるべしと一意安値發表を希望したるに蓋を開けて見れば案の定殆んど 1 割増に近い申込みとなつた。

買手側が自信あつての申込み故兎や角云ふべき筋でもないが切に將來の健康を祈る次第である。

中型山形標準値段据置 輸入値段は大陸輸出販賣組合成立氣構ひにて漸騰の氣勢にあるも、爲替の引返しは之を相殺して外注値段は圓貨に於て保合を示しつゝあり。しかも嚴格なる外注追従主義を墨守するとせば、標準値段は 66、7 圓見當を表示せざるべからざる筋合なるも、一時に急激なる値上を爲すは、市場を穩健に指導する所以に非ざるべきを慮り、今後なほ相場昂進の餘地あるかを表明する爲め、標準値段は 1 月 13 日に決定せる標準値段のまま茲暫く据置の 62 圓と定め、本日以後の隨時引合に適用することとせり。

行つた。實に氣持のよい事である。

ともあれ昭和 7 年度の鋼材市況よ幸あれかし。當日決定した事項次の如し。

3、4 月積先物協議會

品種	區分	入電沖着	河岸着値段 (爲替 35%)	希望	決定	備考
角鋼	ベース	\$ 16.75	¥ 65.45	59	62	7 圓上げ
平鋼	(本所分野)	16.75	65.45	59	62	"
大型山形鋼		16.50	65.79	59	62	"
工形鋼		16.50	65.79	59	62	"
溝形鋼	(吋寸法)	20.00	75.46	65	71	11 圓上げ
	(耗寸法)	16.45	65.65	59	62	7 圓上げ
丸鋼	ベース	17.00	68.71			
	9mm	17.50	70.13			
中小型山形鋼		16.50	67.28			
鋼板	6mm 以上	19.50	75.84			
	4.5mm	19.25	74.34			
	3.2mm	20.30	77.29			
	2.3mm	23.00	89.88			
	1.6mm	23.50	91.28			
線材	B.W.G.No.5	25.50	87.71			
黑薄鋼板	£10-13-6	138.71				
鋳力板	170lbs	1-8-11	15.45			
	100lbs	0-16-0	8.58			

三軌會

月日場所 1 月 19 日 於八幡

出席者 三井、三菱、製鐵

議題 自 1 月 20 日至 2 月上旬重軌條價格協議爲替下落に關連し輸入値段高値につく關係上從來通り輸入値段に追隨するとすれば相當高値を發表せざるを得

ないが今回は 5 圓の値上げに留め今後の情勢に依り徐々に値上する事とした。

20 哩以下 1 噸に付 金 103 圓替
超 20 哩 " 金 102 圓替

鋼 矢 板 會

1、日 時 昭和 7 年 1 月 19 日

1、場 所 八幡 製鐵所販賣部

1、事 項 發送其他に關し

舊臘來、製鐵所が探つて來た市況に對する慎重な態度が、一般鋼材以外の特殊品目に附ても試みられたので別に再禁止になつてからの騒動に此の方面には誠に少なかつた、値段も 1 週間乃至 10 日毎に外註追隨を基礎とする中間値段が發表されるし、性質上、見越の買付けも出來ぬ品物であり頗るしつかりとした足取りで漸次に外註に追隨して行く事に決定された事項中主なるもの次の通り 1 月中 1 噸に附 金 145 圓也 其他細々した事が決定されたが書くことの程もあるまい。

三 エ ス 會

1、日 時 昭和 7 年 1 月 19 日

1、場 所 九州八幡製鐵所販賣部

1、事 項 1 月以降 3 月迄の硅素鋼板契約に關し

未曾有の電機界の恐慌に材料の山積等を理由として硅素鋼板の長期契約は一時更改不可能に陥つた、復活に關し随分苦勞もし又勵めもしたが賢い人々は容易に諾と云つて呉れなかつた。折角築き上げた貴重な製板技術も、需要の無い處には振ふ由もなく誠に情無い状態を呈し一時繰業を中止して居た位であつたが、風の吹き廻しが變つて來ては、賢い丈騒がざるを得ないらしい。ともあれ未だ未だ日本には採算を度外視する國營の製鐵所の必要が痛感される。不取敢、3 月迄の引受數量、値段が決つた。

1、引受數量 4 社計 500 噸

1、値段 (一般向) 1 噸に附裸バンド東

B 級 220 圓也 T 級 280 圓也 D 級 260 圓也

外註 T 級 27-11-6 270.00 B 級 19-14-6 194.83
換算 $2/1$

1、其他の條件は從來通り。

鉄 力 板 2、3 月 積

僅かに生産月額 2,000 噸の本所の鉄力板にも春が來る。げに冬來りなげ春又近しである事を泌々と感ぜしめられる。善きに連れ悪きに連れ、本所の鉄力板は内地市況の緩衝劑となり、面黒い足取りを見せてくれる。心ある人よ鉄力板後日譚を一席聞きに來る氣はありませんか。

一般鋼材と違ひ、鉄力板は外註に追隨して完全に躍る。

2、3 月の鉄力板は恐らく割當に苦勞する事だらう。

決定次の如し。

1、賣出數量 發表せず

1、賣出値段 1 函に付 100 封度 金 8 圓也
170 封度 金 14 圓 10 錢也

外註 100 ボンド 0-15-11 8.39
170 ボンド 1-8-6(2%) 14.98

1、2 級品は 2 割迄混入差支なし。

値段は今月に限り 3% 引の事とす。4 社に強制されて意外に引受數量を多くすれば又々積遅れを惹起する虞れ充分ありと釋明的の宣言があつたが 同社は積遅れに關し絶體に苦情を付けぬと斷言して居る、恐ろしい事だ。

厚板共販理事會 - 2、3 月積賣出し

月日場所 1 月 21 日 於製鐵所東京出張所

出席者 川崎、淺野、東海及製鐵

主なる議事 1) 共販組合繼續の件

2 月末日を以て満期となる。當組合は 3 月 1 日より 7 月末日迄組合繼續の件を協議し満場一致を以て繼續の事に決定した。

2) 2、3 月積賣出の件

(イ) 値段 外注値段は 19 弗 45 仙にて、前回に比し 20 仙高値となり爲替を 36 弗半にて計算すれば 72 圓 60 錢となるも、爲替も未だ不動氣味の際にて且つ急劇なる値上げも至難の事情にあるを以て前月に比し 2 圓上げとし只定尺のみは前月の事情の爲め 1 圓だけ下値となしたるを以てこれだけは 3 圓上げの次記に決定した。

猶今迄は先物は耳付に限られたるも 今月は定尺、切板共締切日迄に申込みたるものは先物扱ひとし其後の引合に對しては耳付は 4 圓高、定尺、切板は 2 圓高とした。但切板に限り寸法書は月末迄に提出するも 差支ないこととした。各社製品共噸當り

耳付 63 圓 定尺 70 圓 切板 72 圓

(ロ) 賣出數量 例により發表せず

(ハ) 締 切 1 月 26 日

厚板 2、3 月 積 締 切

耳付、定尺、切板の 3 者を通じての先物賣出しは組合として最初の試みであり、一般に注目せらるゝ處であつたが締切りの結果は次の通り總額 7,200 噸餘と大體豫想通りの好成绩を顯して居る。就中切板の申込數量は最近の新記録にして季節的實需の現はれと見て差支へない。

申込數量は全額引受くることとした。

申込數量 耳付鋼板 定尺鋼板 切 板 合計
4,250 噸 1,432 噸 1,539 噸 7,221 噸

線材共販理事會 - 2、3 月 積 賣 出

月日場所 1 月 22 日 於製鐵所東京出張所

出席者 神戸製鋼、製鐵及 5 社側

主なる議事 2、3月積線材賣出の件

理事会に入るに先ち5社側より次の希望あり

別表の通り外注値段の C. I. F は前回の協議會に於けると同様に只爲替關係により82圓以上の高値となるも、前月同様未だ不需要期を脱せざるとシンデゲートは共販の發表値段を見たる上相當値下げの準備ある模様なるを以て是等を考慮し漸進的に値上げする意味より次記値段に決定願度し。又、賣出數量に就ては今月多量の賣出しをなす時は前月の1萬餘噸の影響もありて市場を破壊する虞ある故相當制限せられたし。

希望値段 製鐵製品 78圓 50錢 神戸製品 78圓

亞で理事会に入り協議の結果 値段に就ては買手側の要望も肯定し得るものにて將來に値上げの餘地を残す爲め買手希望通りの次記値段に決定せり。

製鐵製品 78圓 50錢 神戸製品 78圓

猶格差徹廢に就て製鐵所側より提案ありたるも來月に於て考慮することとして今月は従前通りとした。

賣出數量は買手の希望もあり、市場が穩健に推移するは共販も希望する處なれば其趣旨を汲み左の通り賣出すこととなつた。

製鐵製品 4,000噸 神戸製品 3,500噸 計 7,500噸

締切 1月23日

線材外注値段

C. I. F.	\$	25.50
Ex @ \$ 37.00		68.92
Duty. 18%		12.40
Int 1.4%		0.96
Lighterage.		1.30
(Per 1,015 kgs)	¥	83.60
(Per 1,000 kgs)	¥	82.36

2、3月積線材締切

前月好勢の跡を享け當月物も先高人氣 値段旺盛の爲め申込數量も大體前月と變りなく盛況を持續して居る。東京の申込み數量中には多少思惑の介在を認めらるゝ爲め是れを加減し結局下表の如く總額 8,500 噸丈引受くこととした。

2、3月積線材申込及引受數量

區分	神戸製鋼				製鐵所				計						
	東京	大阪	名古屋	計	東京	大阪	名古屋	八幡	計	東京	大阪	名古屋	八幡	計	
申込	井菱	—	500	—	500	2,000	100	65	—	2,165	2,000	600	65	—	2,665
	三岩	—	415	—	415	500	265	65	—	830	500	680	65	—	1,245
	安日	—	1,400	—	1,400	825	920	—	120	1,865	825	2,320	—	120	3,265
	井宅	—	1,325	—	1,325	700	625	—	—	1,325	700	1,950	—	—	2,650
	日商	—	1,450	—	1,450	200	100	—	—	300	200	1,550	—	—	1,750
計	—	5,090	—	5,090	4,225	2,010	130	120	6,485	4,225	7,100	130	120	11,575	
引受	計	—	3,500	—	3,500	2,740	2,010	130	120	5,000	2,740	5,510	130	120	8,500

黑板共販理事会—2月積賣出し

月日場所 1月23日東京丸ノ内會館

出席者 川崎、中山、徳山、日鋼、製鐵及四社側

主なる議事 2月積賣出しの件

買手側希望として次の提案あり

(1) 平板 13枚もの130圓、浪原 127圓 50錢の賣出を希望す厚物値段は 13枚物値段をベースとして適當の値開きにて發表され度事

(2) 數量は最少限度に止めて發表せられ度き事

(3) 輸出向原板を賣出され度き事、尙 1月末を以て満期となるものに對する輸出期限を當分延期願ひ度き事

(4) 波板原板の幅を 29吋半にする件

以上希望値段 130圓の根據は外注の最低 10—10—0を2志 1片 5/16にて換算せる130圓 62錢の外注値段であるが、共販側としては外注の實際は 10—12—6見當、而も爲替は少くとも弱含みの實狀に照し、2、3圓の開きはあるべく且不需要期に於ける思惑買の悪影響を恐れて132圓の4圓 50錢上げを主張するものと、市場値段に照して130圓が適當なりと賣手買手利益切半の社會政策的主張に分れたが結局別記の通り 132圓に決定することとなり、格差及其他 4社希望事項に對する回答を討議の上次記の通り決定發表した。

次記 賣出條件

(イ) 内地向値段 (川崎標準)

13枚物 132圓(浪原 2圓 50錢開き)	4圓 50錢上げ	7枚物 117圓 3圓上げ
12枚物 128圓 5圓上げ	6枚物 115圓 3圓上げ	5枚物 106圓 4圓上げ
11枚物 126圓 5圓上げ	4枚物 102圓 4圓上げ	4枚物 98圓 4圓上げ
10枚物 123圓 4圓上げ	3枚物 98圓 4圓上げ	
9枚物 121圓 4圓上げ		
8枚物 119圓 3圓上げ		

格差は製鐵 50錢下げの1圓 50錢他社は従前通り。

猶今回製鐵所は厚物は 10枚物(格差 3圓)のみを賣出す。

(ロ) 4社希望通り輸出向を賣出すことになつたが値段は川崎標準物 100圓丁度格差は内地向同様、但浪原は格差を附せず平板と同値のこと、數量は 1,000噸

(ハ) 締切と發表、26日締切 27日大阪にて發表。

(ニ) 29時半の問題は輕々に取計ひ兼ねるを以て今しばらく研究問題として残すことにしたい。

参考、4社提出の外註採算次の如し。

ブラツセル齋藤囑託通信 1月30日入電

市場閑散ながら強含み。相場次の通り(金スターリング)

棒鋼 大型山形 中小型山形 工形 鋼板 (B.S) (3/16")
2-14-0 2-13-0 2-14-0 2-12-6 3-4-0

1月8日發信

本年第1回の市場は靜穩ながら幾分樂觀人氣を散見致候へ共相場は不
相變次の通り安値を唱へ申候

	Export	Inland
Bars (base) £	2-13-0	500
Angles (")	2-13-0	500
" (med)	2-14-0	520
Joist. B. S.	2-13-6	510
" N. S.	2-12-0	495
Plates 3/16"	3-5-0	605
Hoops (base)	3-10-0	—
" Cold Drawn	7-2-6	26 BG.
Bloom 5/8"	2-6-6	—
" 3/4"	2-7-0	—
Billottes 3/4	2-7-0	—

1月9日發信

○歐洲粗鋼カルテル改造下相談と共
販機關組織の計畫

國際粗鋼カルテルは暫定的に來る
3月末日迄現狀にて存續することゝ
し一方共販機關は各種製品別として
各々其成立を急ぎ爾來數度委員は各
地に集合致居り最近は數日前より巴
里に寄合何ふやら今回は會議多少永
引きても物にする積りらしく候

既に半製品組合と工形鋼共販組合
は近日中に具體的組成を見るものと

云はれ居候之が爲か市場は多少活氣を帶び來りたる模様
に御座候

○佛國內地市場と國內鋼材共販組合の組織

佛國鐵鋼界は他諸事業と同様世界的市況の影響を蒙る
こと遅く超然たりしが遂に昨年春頃より追々と業態惡
化し一昨年1月より火入鑪爐數 155 基出銑噸數 87 萬
5,000 噸なりしもの昨年1月には既に 135 基 80 萬 3,000
噸に減じ最近は火入爐數僅かに 98 基月産 57 萬噸とな
り(11月の統計)鋼塊産額は一昨年1月 80 萬噸昨年同
期 74 萬 6,000 噸去る 11 月 53 萬 8,000 噸の記録を公表
致居候。一方國內相場も漸落を告げ銑鐵年初 310 法、年
末 240 法、ブルーム 460 法より 320 法、鋼材 530 法
より 500 法、工形鋼 620 法より 550 法と落込申候

殊に半製品相場は共販機關の解消と自由競争に加へ英
貨の崩落の爲殊に下落率甚しかりし次第に御座候 年末の
押迫りて 12 月 30 日を以て佛國鋼材共販組合 成立を遂

British Black Sheets
Quotation of Feb. shipment.

3' x 6' x 230 sh.	Corrugated sheets 6', 7' & 8'	
Cif. £ 10-10-0	£ 10-5-0	
Exch. @ 2/1 5/16 ¥ 99.56	¥ 97.19	
Interest 1.4% 1.39	1.36	
Duty 32.22	32.22	
Landing 1.30	1.30	
per 280 sh. ¥ 134.47	¥ 132.07	
per 268 sh. 128.69		
Including commission 130.62		
	6'-348 sh. ¥ 0.3795	325 sh. ¥ 123.34
	7'-290 sh. 0.4554	276 sh. 125.69
	8'-260 sh. 0.508	246 sh. 124.97
	Average 124.66	
	Incl. commission 126.53	

Quotation of British C. A. Steel Sheets

	Jan./Feb. shipment.	21 st Jan., 1932
3' x 6' x 3 sheets per 50 kgs.	£8-6-9 per 2,240 lbs.	¥ 102.70 per K.Ton
3' x 6' x 4	8-16-3	107.15
3' x 6' x 5	9-4-6	110.71
3' x 6' x 6	9-4-6	119.61
3' x 6' x 7	9-12-0	122.96
3' x 6' x 8	9-12-0	122.96
3' x 6' x 9	9-12-0	122.96
3' x 6' x 10	9-17-0	125.70
3' x 6' x 11	10-11-0	132.05
3' x 6' x 12	10-14-0	133.46
Exchange @ 2/1 1/2		
Inst. 1.4%		
Landing 1.30		
No. commission		

黑板共販理事會 — 2月積締切

月日場所 1月27日大阪電氣俱樂部

出席者 川崎、中山、徳山、日鋼、製鐵及4社

議事 先高見越と爲替關係上外註が容易でないとの理由の爲に2月の霜枯時としては稀有の申込に數箇月振りの賑しさを呈し、薄物 18,132 噸、厚物 5,494 噸、計 23,626 噸を算した。殊に製鐵所物の目立つて多いのは格差關係であらうが僅か 50 錢でこふまで響くかと思ふと鍍金屋さんの算盤の細いには今更ながら驚かされる。

申込並に引受狀況は次の通りである。

薄物内地向	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
申込噸數	6,340	6,540	2,050	1,512	350	16,792
引受噸數	6,340	4,540	2,050	1,312	350	14,592
輸出向	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
	350	760	200	0	30	1,340
	350	395	90	140	25	1,000
厚物	川崎	製鐵	徳山	日鋼	計	
申込噸數	3,263	120	1,704	407	5,494	
引受噸數	同上	同上	同上	同上	同上	

げ組合は佛國內竝にザール地方のメーカー全部を包含し本1月1日より向ふ3箇年を存立期間と取極め尙一方半製品及工形鋼組合とも連絡の交渉中なりと云はれ居候斯く全佛國製品販賣統制を見れば残るは銑鐵竝に薄板業者のみとなり早晩これ等のメーカーも何等かの團結を見るに至るべきやと存申候

○過去5年間輸出向鋼材相場比較表

	Jan. 4th '28	Jan. 2nd '29	Jan. 8th '30	Jan. 7th '31	Jan. 6th '32
Bars £	4-17-6	6-0-0	5-5-0	4-4-0	2-13-0
Joists N.S.	4-7-6	5-2-0	4-19-0	3-14-0	2-12-0
Heavy Plates	5-19-0	6-5-0	6-4-0	4-15-0	3-5-0

因に他製品の昨年々初竝に年末の相場を比較せしに次の通り

	Jan. 7th '31	Dec. 30th '31
No. 3 Foundry	Fr. 521	431
Thomas Pig	481	391
Blooms	£ 3-10-0	2-7-0
Billettes	3-13-0	2-8-0
Sheets Bars	3-15-0	2-9-0
Joist B. S.	3-16-0	2-12-0
Angles	4-5-0	2-13-0
Hoops	4-15-0	3-10-0
Wire Rods	6-0-0	?
Galv. wire	6-15-0	6-5-6

東西市況一閑散區々

さつぱり荷物が無いと言ひ2月だから選挙だからとは言ふが、頭打とも下押しともおつしやらない、閑散ながら保合、先行強含みといつても期に片付けられるのが此頃の市況である。

數字を拾つて内容を洗つて見れば活況を呈してゐるのは品薄と爲替の下落と云ふ消極的原因で需要の擡頭に依るものではなく入荷と爲替の變動の如何に依つて忽ち頭打となるものであるが、選挙の結果と、需要期が同時に迫り「世界の景氣は本年から」などと云ふ好材料がちらついては、鐵屋さんならずともいつまでも「駄目ですあきまへん」でもなく今年こそは好況氣構にノンビリするのも尤もで、而も亦此氣分が市場に反映して或る雰圍氣を醸し出す事ともなるので輕舉盲動を戒しめれば景氣待望も結構である。

然し又一方では、西路が多少の上廻りを見せてゐるのは常例の、販路と仕手の問題で特別の現象ではなく、犬養景氣で上げたものゝ實需は起らず、大陸販賣組合成立の聲は聞くが姿は見えず、他に海外好轉の事もなく、爲替の行衛も定かならず加ふるに安く多く買込んだ後には賣出制限の注射も效力薄く、安物の利喰に逆鞘の出現も豫想されて世界的不況退散の目鼻がつかない限り先行樂感は許されずとする向もあつて茲許市況區々と云はれて居る。

東京市況

丸鋼 外注品の入荷も順調に伸鐵物の進出も期待されては流石の6mmも先行弱含みに伸惱み、9mmはアウトサイダーが多い上に霜枯時を控へては本所切角の引受手控と建値の加減も、強氣の材料とはならなかつたが、季節相當には下支への役目を果して、小甘いながら保合と見られ、12mmは手持薄に先行強含みを唱へられながら不需要期では是亦不伸、ベース物は先高見越に先物の賣手はないが需要不振と入荷豊富に糧てゝ加へて安値手持品を賣急ぐ向もあるとかで茲許頭打の態である。需要不振と入荷順調の爲め下押氣味の丸鋼中、50mm以上は戻りと小堅く殊に50mmは極度の品掠れに一時は7圓の商内もあつたと云はれてゐる。

角、平鋼 角は一般に品薄の處大阪方面に積み出された物もあるとかで荷動は捗々しくはないが本所品の出廻不圓滑と相俟つて高値の品が多く殊に16, 38, 44, 50, 65mmは6圓50錢以上7圓を唱へられてゐる。平は3/8"×4"が品薄に例外的の躍騰を見せてゐる以外は本所品の出廻り一巡に弱含みながら保合を持續し、只1/4"×1/2"が品薄で一時7圓見當を唱へられたが、多少の入荷に早速先旬の6圓80錢を10錢方下廻つた。

型鋼 中型等山の6mm×50mmは意外に永く好調を持續してゐるが今旬は復々極度の品薄に鰻上りに昂騰し、8圓のものもあつたと云はれる程の豪勢振であるが、鋼管製品の出廻るのも遠くはないので先行氣分悪しと見られてゐる。6mm×50mm×50mm以外の中山は出廻順調となり、賣物も弗々と現れて稍軟化、大型等山は21mm×130mmが珍らしく大阪方面へ相當動いたとの噂の外は相變らず賣行面白からず且つ2月渡の入荷も目前に追つたので軟弱。

不等山は相變らず1/4"×2"×4"が尠くて強調を保ち、大型は期節相應に軟弱、溝形3/8"×3"×8, 3/8"×3 1/2"×10等一時高値を唱へられたが入荷があるとかあつたとかの風聲に忽ち引戻して保合つてはゐるが、需要の大してゐるものではない丈に思惑品出廻を恐れて賣急いでゐる向もあるとかで、先安氣構に市場の氣分は悪いとも云はれてゐる。

工形は外注皆無手持薄で1/4"×3"×4"等7圓を唱へられたものもあるが、荷動不振の處に積出の順調も豫想されるので伸惱んでゐる。

鋼板 相當入荷のあつた中板市場は一時鳴を静めてゐるが、荷動が意外に多かつたのと流石は共販隨一に統制が取れた中板とて賣出制限の撤底を期する事が出来たので、市況は強含み目先好調と見られてゐる。16mm×4'

×8' 最もよく 5'×10' と同値を唱へられてゐるが是れは 5'×10' が安いのではなく、4'×8' の品切に近い、状態を示してゐるものと見て差支あるまい、6mmも品掠れとなり戻りと保合、9mm はシーヤーで割安に切る爲め下押を見る向もあるが一般に氣配は好調と言はれてゐる。

大阪市況

丸鋼 總じて荷動きは捗々しからざるも自重したる當所標準値段發表は市場に好感を持たれてゐる様子にて市況は比較的手堅い。各間屋共手持薄にて相場もまた伸びる餘裕あるものと見られ、節分も目前に迫つてゐる昨今とて鬼は外福は内と祈つてゐる。細物はロツドの高値を眺めて先旬來 1、30 錢方反騰した模様である。中丸は市中品薄にて堅調を辿り相場も 6 圓 80 錢拂みを唱へられてゐる。太丸は荷動き鈍き品だけに妙味に乏しく先づ當分保合か。

鬼よげよ不景氣よげよさし柵

角、平鋼 角鋼は當所定期契約中止のため市中在庫は極度に拂底し就中 25, 32, 44, 65mm 等は皆無にて 7 圓 30 錢と光つてゐる。平鋼は伸鐵物は材料高に先般來約 1 圓 50 錢値上した様であり、又 3' 以上の當所寸法物は當所よりの手當なきため品掠れとあつて 6 圓 80 錢カツチリを唱へられて居る。

型鋼 小型アングルは出足鈍き品だけに可もなく不可もなく推移して居る。中型山形鋼は 6×50 は出廻り不順調にて従つて相場も 7 圓20錢を唱へられ其他の物も概して6圓60錢見當に取引されて居る。溝形鋼は當所先物値上發表のため市中相場も之に準じて相當高値を唱へられてゐる。工形鋼は相場は高いが荷動き遅々として進まず。

鋼板 1、2 中板は外註杜絶、共販の統制等が效を奏し目下異常な反騰振りを示して居る。3'2×5×10 等は極端なる品掠れにて相場も別表の如く高い。厚物は市中在庫普通にて相場 7 圓 50 錢カツチリに取引されて居る。

線材 先日來爲替相場恢復により國産品は幾分引緩みたるも共販 2 月積値段發表せしため持ち直したようであるが市中にはまだ 1 月物契約品相當残り居るため茲許伸憚みの態と云はれてゐるが先行は樂觀する向が多い。

鋳力板 本國は變らざるも賣行不振から先旬來 2、30 錢方引緩みの態と云はれ唯 100 封度物は需要期接近と共に相場も引き締つて居る。

東京大阪市中相場 12 月下旬

丸鋼

	東京	大阪
6mm	7.40	7.35
9	6.10	6.20
12	6.00	6.10
19	5.90	6.05

	東京	大阪
25	6.40	6.40
50	6.40	6.40
65	6.30	6.30

角鋼

	東京	大阪
9mm	6.80	6.30
12	6.50	6.15
15	6.30	6.10
19	6.20	6.20
38	6.70	6.70

平鋼

	東京	大阪
1/4" × 1 1/2"	6.10	6.15
1/4" × 2"	6.20	6.35
1/4" × 3"	6.50	6.40
3/8" × 4"	6.35	6.35
1/2" × 4"	6.35	6.35

等邊山形鋼

mm mm mm	東京	大阪
6 × 50 × 50	6.90	6.60
6 × 65 × 65	6.60	6.45
6 × 75 × 75	6.50	6.35
6 × 130 × 130	6.20	6.55
12 × 130 × 130	6.30	6.65
15 × 150 × 155	6.30	6.60

不等邊山形鋼

	東京	大阪
3/8" × 2" × 3"	6.50	6.65
3/8" × 4 × 4	6.10	6.45
3/8" × 3 1/2 × 5	6.30	6.40
3/8" × 4 × 6	6.30	6.65
1/2" × 4 × 6	6.60	6.60

溝形鋼

	東京	大阪
3/4" × 2" × 4"	6.70	6.65
0.312 × 2 1/2 × 5	7.00	7.40
3/8" × 3 × 6	7.70	7.50
3/8" × 3 × 8	7.00	6.70
3/8" × 3 1/2 × 10	7.20	7.25
3/8" × 3 1/2 × 12	7.35	7.35

工形鋼

	東京	大阪
3/4" × 3" × 6"	6.40	6.70
3/8" × 6 × 12	6.60	6.65
0.28 × 4 × 8	6.60	7.20
0.35 × 5 × 12	6.40	7.30
0.36 × 5 × 10	6.40	7.30

鋼板

	東京	大阪
1.6mm × 3' × 6'	8.90	9.00
16 × 4 × 8	7.60	7.50
3'2 × 4 × 8	7.15	7.15
3'2 × 5 × 10	7.50	7.20
6'0 × 4 × 8	7.50	7.20
6'0 × 5 × 10	7.50	7.20
9'0 × 4 × 8	7.50	7.20
9'0 × 5 × 10	7.50	7.20

薄鋼板 (13 枚)

	東京	大阪
米	46	48
英	46	46
八 幡	47	46

鋳力板

	東京	大阪
米 (170lbs)	17.50	15.70
100	9.50	8.80
英 (170)	14.50	13.50
100	8.50	7.70
八 幡 (170)	14.50	13.80
100	8.50	7.80

線材

	東京	大阪
No. 5	73.00	71.50

備考 100 疋につき(置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は鈍當り。

線材、薄板、鋳力板輸入速報

品名	1 月上中旬				1 月下旬				備 考
	神戸	大阪	横濱	合計	神戸	大阪	横濱	合計	
B.W.G.No.5	403	—	424	827	—	102	267	369	神戸自 7 年1月 2 日至1月18日 大阪自 1 月1日至1月 18 日 横濱自 6 年12月26日至7年1月17日 神戸、大阪自7年1月19日至1月29日 横濱自7年1月18日至1月27日
線材 其他	441	100	267	808	120	—	120		
計	844	100	691	1,635	120	102	267	489	
1 月 計					964	202	958	2,124	
薄板 0.7mm以下	346	813	171	1,330	—	579	263	842	
1 月 計					346	1,392	434	2,172	
鋳 力 板	1,573	—	746	2,319	299	28	436	763	
1 月 計					1,872	28	1,182	3,082	

東京大阪市中相場

(單位圓)

寸 法	1 月上旬		1 月中旬		1 月下旬		寸 法	1 月上旬		1 月中旬		1 月下旬		
	東京 1月 8日	大阪 1月 6日	東京 1月 18日	大阪 1月 15日	東京 1月 28日	大阪 1月 25日		東京 1月 8日	大阪 1月 6日	東京 1月 18日	大阪 1月 15日	東京 1月 28日	大阪 1月 25日	
	丸 鋼							溝 形 鋼						
6mm	7.50	7.40	7.50	7.60	7.50	7.70	1/4" x 2" x 4"	6.70	6.70	6.70	6.50	6.70	6.60	
9	6.50	6.30	6.25	6.40	6.20	6.30	0.312 x 2 1/2 x 5	7.00	7.40	6.90	6.90	6.90	7.30	
12	6.10	6.20	6.15	6.20	6.10	6.20	3/8 x 3 x 6	8.00	7.50	7.80	7.20	7.50	—	
19	6.00	6.15	6.00	6.15	5.90	6.10	3/8 x 3 x 8	6.80	6.70	6.80	6.50	6.80	6.60	
25	—	—	—	—	—	—	3/8 x 3 1/2 x 10	7.30	7.40	7.20	7.00	7.20	7.30	
50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.80	6.40	3/8 x 3 1/2 x 12	—	7.45	—	—	—	—	
65	—	—	—	—	6.50	6.50		工 形 鋼						
	角 鋼							鋼 板						
9mm	6.70	6.60	6.70	6.45	6.60	6.40	1/4" x 3" x 6"	6.70	6.70	6.40	6.50	6.50	6.60	
12	6.50	6.40	6.50	6.40	6.50	6.40	3/8 x 6 x 12	6.60	—	—	—	6.40	—	
15	6.40	—	6.60	6.35	6.60	6.30	0.28 x 4 x 8	6.50	6.65	6.50	—	6.50	—	
19	—	—	6.30	6.40	6.20	6.50	0.35 x 5 x 12	—	7.45	—	7.00	—	7.30	
38	—	—	—	6.70	6.50	6.90	0.36 x 5 x 10	—	7.70	—	7.20	6.60	—	
	平 鋼							薄 鋼 板(13枚)						
1/4" x 1 1/2"	6.20	6.10	6.80	6.20	6.70	6.30	1.6mm x 3' x 6'	9.40	9.50	9.45	9.30	9.40	9.40	
1/4 x 2	—	—	6.10	—	6.10	—	1.6 x 4 x 8	—	9.40	9.50	9.20	9.80	9.30	
1/4 x 3	—	—	6.20	6.40	6.20	6.50	3.2 x 4 x 8	7.90	7.70	7.90	7.70	7.80	7.90	
3/8 x 4	6.50	—	6.50	6.60	7.00	6.70	3.2 x 5 x 10	—	—	—	8.20	—	8.40	
1/2 x 4	6.20	—	6.30	6.50	6.30	6.50	6.0 x 4 x 8	7.70	7.30	7.70	7.30	7.70	7.40	
	等 邊 山 形 鋼							鋳 力 板						
mm mm mm							6.0 x 5 x 10	—	—	—	—	—	—	
6 x 50 x 50	6.80	6.75	6.80	6.70	7.80	7.00	6.0 x 5 x 10	—	—	—	—	—	—	
6 x 65 x 65	6.70	—	—	6.40	6.50	6.50	9.0 x 4 x 8	7.50	7.32	7.50	—	7.40	—	
9 x 75 x 75	6.60	6.35	6.50	—	6.30	6.70	9.0 x 5 x 10	—	7.30	—	—	—	—	
9 x 130 x 130	6.40	7.00	6.30	6.50	6.20	—		米						
12 x 130 x 130	—	6.75	6.20	6.40	—	6.80		(170lbs	17.50	15.50	17.50	16.50	17.50	17.50
15 x 150 x 150	—	—	—	—	—	6.70		{100	9.50	9.20	9.50	9.50	9.50	9.80
	不 等 邊 山 形 鋼							英						
3/8" x 2" x 3"	6.50	6.70	6.40	6.50	6.50	6.70	(170	14.50	14.00	14.50	14.20	14.20	14.20	
3/8 x 3 x 4	6.40	6.60	—	6.30	6.30	6.40	{100	8.50	8.00	8.50	8.30	8.00	8.00	
3/8 x 3 1/2 x 5	6.30	6.45	—	6.20	—	—		八 幡						
3/8 x 4 x 6	6.40	6.70	—	6.40	6.20	6.60	{170	14.50	14.00	14.50	14.20	14.20	14.30	
1/2 x 4 x 6	—	6.75	—	—	—	6.70	{100	8.50	8.00	8.50	8.20	8.00	8.40	
								線 材						
								No. 5 78.00 76.00 80.00 77.00 85.00 77.50						

備考 單位 100kg につき(置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 噸當り。鋳力板は 1 箱當り。

昭和6年12月當所製品揚地別發送高

(單位噸)

揚地別	品名區分		材計	鋼片及鋼塊	副製品	合計	揚地別	品名區分		鋼片及鋼塊	副製品	合計			
	鋼	材						官廳	民間						
內地	當所	渡	223	9,342	9,565	11,516	18,560	39,641	朝鮮地方	455	81	536	—	—	536
京濱	地方	地方	4,174	19,621	23,795	555	60	24,410	臺灣地方	14	34	48	—	—	48
阪神	地方	地方	11,009	16,362	27,371	2,771	30	30,172	其他	—	—	—	—	—	—
伊勢	地方	地方	27	1,473	1,500	—	36	1,563	計	19,373	47,794	67,167	15,256	21,651	104,074
東海	地方	地方	—	—	—	—	—	—	輸出向	—	—	—	—	—	—
山陰	地方	地方	103	202	305	—	—	305	滿洲地方	—	87	87	—	—	87
北陸	地方	地方	—	—	—	—	1,219	2,190	支那地方	—	—	—	—	—	—
內海	地方	地方	971	—	971	—	—	28	其他	—	—	—	—	—	—
沿岸	地方	地方	—	28	28	—	—	28	計	—	87	87	—	—	87
奧羽	地方	地方	1,924	548	2,472	414	1,746	4,632	合計	19,373	47,881	67,254	15,256	21,651	104,161
關門	地方	地方	—	—	—	—	—	—							
九州	地方	地方	—	—	—	—	—	—							
北海道	地方	地方	473	103	576	—	—	576							
樺太	地方	地方	—	—	—	—	—	—							

昭和6年11月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表 (單位噸)

寸法	丸鋼								合計
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				
	阪神	京濱	其他	計	阪神	京濱	其他	計	
6mm	—	—	1	1	—	—	—	—	1
8	—	—	3	3	—	—	—	—	3
9	934	946	251	2,131	—	—	—	—	2,131
9.5	—	—	2	2	—	—	—	—	2
12	21	—	3	24	—	—	—	—	24
13	—	—	30	30	—	—	2	2	32
16	—	—	50	50	—	—	—	—	50
19	—	—	133	133	—	—	—	—	133
22	29	—	100	129	—	—	—	—	129
25	—	3	56	59	—	—	2	2	61
33	—	—	15	15	—	—	—	—	15
40	—	—	2	2	—	—	10	10	12
42	1	—	1	2	—	—	—	—	2
50	247	45	97	389	—	—	31	31	389
55	123	30	18	171	—	—	—	—	202
60	2	15	7	24	—	—	—	—	24
65	84	60	29	173	—	—	65	65	238
70	12	15	—	27	—	—	—	—	27
75	33	5	27	65	—	—	59	59	124
80	3	26	4	33	—	—	—	—	33
85	1	—	—	1	—	—	—	—	1
90	51	10	6	67	—	—	27	27	94
95	6	—	—	6	—	—	—	—	6
100	1	—	41	42	—	—	12	12	54
105	—	—	—	—	—	—	1	1	1
110	—	—	—	—	—	—	14	14	14
120	—	—	2	2	—	—	1	1	3
130	—	—	1	1	—	—	—	—	1
200	—	20	—	20	—	—	—	—	20

丸鋼計 1,548 1,175 879 3,602 — — 224 224 3,826

寸法	角鋼								合計
	民間向普通鋼				規格品特殊鋼				
	阪神	京濱	其他	計	阪神	京濱	其他	計	
10mm	2	—	—	2	—	—	—	—	2
12	86	—	45	131	—	—	—	—	131
16	32	—	8	40	—	—	—	—	40
19	1	—	—	1	—	—	—	—	1
20	1	—	—	1	—	—	—	—	1
25	1	—	1	2	—	—	—	—	2
30	1	—	—	1	—	—	—	—	1
32	17	—	—	17	—	—	—	—	17
38	54	17	12	83	—	—	—	—	83
50	4	10	4	18	—	—	—	—	18
65	4	—	3	7	—	—	—	—	7
75	4	—	9	13	—	—	4	4	17
90	9	—	10	19	—	—	—	—	19
100	5	—	21	26	—	—	143	148	174
130	—	—	3	3	—	—	—	—	3
150	—	—	1	1	—	—	—	—	1
170	—	—	3	3	—	—	—	—	3
角鋼計	221	27	120	368	—	—	152	152	520

平鋼

19mm	295	345	46	686	—	—	—	—	686
22	48	56	—	104	—	—	—	—	104
25	83	294	43	420	—	—	—	—	420
32	230	212	61	503	—	—	—	—	503
38	163	—	3	166	—	—	—	—	166
44	200	—	—	200	—	—	—	—	200
50	229	—	12	241	—	—	1	1	242
55	39	—	—	39	—	—	—	—	39
65	12	—	1	13	—	—	2	2	15
75	217	53	22	292	—	—	4	4	296
90	62	45	30	137	—	—	2	2	139

平鋼計 1,578 1,005 218 2,801 — — 9 9 2,810

棒鋼總計 3,347 2,207 1,217 6,771 — — 385 385 7,156

昭和6年11月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本年度 累 計
條及 竿鐵 <small>(丸、角、平形にして 徑又は幅15mmを 超えざるもの)</small>	14	69	318	85	15	—	41	2	—	—	1	545	7,260
〃 <small>(丸、角、平の 他の形及 テーパー形 アングル形 其他)</small>	151	—	1,050	195	35	20	2	—	—	—	3	1,456	12,613
〃 <small>(其 他)</small>	41	—	4	15	—	—	—	—	—	—	—	60	1,898
〃 <small>(其 他)</small>	10	4	1,868	145	—	—	—	—	—	—	36	2,063	14,380
レ — ル	—	53	811	—	—	—	—	5	—	—	—	869	5,661
フィッシュ、プレート	—	—	26	—	—	—	—	—	—	—	—	26	304
ワイヤー ロッド <small>(巻きたるものに して径5mmを 超えざるもの)</small>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	103
〃 <small>(巻きたる もの其他)</small>	179	193	2,642	282	—	—	221	596	—	—	—	4,113	59,567
鐵 板 <small>(金屬を鍍せざるものに して厚0.7mmを超え ざるもの其他)</small>	62	—	131	—	10	—	6	187	—	—	—	396	2,474
〃 <small>(金屬を鍍せざるものに して厚0.7mmを超え ざるもの其他)</small>	2,084	—	246	—	—	—	—	—	—	—	1	2,331	15,480
〃 <small>(金屬を鍍せざるものに して厚3mmを超えざ るもの)</small>	40	—	151	—	3	—	6	152	—	—	—	32	4,180
〃 <small>(金屬を鍍せざ るもの其他)</small>	70	90	43	26	—	52	1	16	—	—	3	301	4,121
〃 <small>(錫鍍したるも の)(葉鐵及葉鋼)</small>	1,102	—	1,244	—	—	—	—	1,200	—	—	—	3,546	43,806
〃 <small>(亞鉛鍍したるもの)</small>	30	—	—	—	—	—	—	5	—	—	36	71	1,056
〃 <small>(其他卑金屬を 鍍したるもの)</small>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	145
鐵 線	—	—	248	1	1	5	4	20	—	—	—	279	7,228
リ ード・ワイヤー	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	10
鐵 リ ボン	47	5	204	96	3	—	57	1	—	—	150	563	5,128
帶 <small>(箍 鐵)</small>	372	764	1,032	1,212	—	—	—	—	—	—	85	3,465	32,850
パラゴン・ワイヤー	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	133
線 索	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	324
燃 合 線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43
バ ード・ツイス ト・ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 筒 及 管	9	—	282	—	—	7	—	505	—	—	—	803	9,199
特 殊 鋼 <small>(稅表一)</small>	10	3	37	—	80	—	5	5	7	—	24	171	1,458
〃 <small>(稅表二)</small>	5	3	—	—	3	—	3	—	—	—	11	25	1,275
鐵 道 車 輪 用 軸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	149
鐵 道 車 輪 用 タイ ヤ ー	—	—	—	51	—	—	—	—	—	—	—	51	396
鐵 道 車 輪 用 グ ラ フ イ ク ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	4,226	1,185	10,338	2,108	150	84	346	2,695	7	—	350	21,489	231,241
フ ェ ロ ・ マ ン ガ ニ ー ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	916
フ ェ ロ シ ル コ ン 及 シ リ コ ス ピ ー ゲ ル ア イ ゼ ン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51
其 他 の 不 可 鍛 成 鐵 合 金	—	—	13	—	—	—	10	—	—	—	1	24	296
シ ー ト バ ー <small>(テインバーを含む)</small>	—	—	1,123	1,156	—	—	—	—	—	—	—	2,279	20,479
イ ン ゴ ツ ト ・ フ ル ー ム ・ ピ レ ツ ト 及 ス ラ ツ プ	—	—	331	—	—	—	—	—	—	—	—	331	1,599
ケ ツ グ ス テ ー ル 及 パ ン プ ス テ ー ル	—	—	—	—	—	—	32	—	—	—	—	32	250
其 他 の 塊 及 錠 鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11
合 計	—	—	1,467	1,156	—	—	4	—	—	—	1	2,666	23,602
鉄 屑 及 故 鐵	864 2,356	—	31	—	—	—	—	—	10,261 1,297	7,868 10,082	12,630 7,691	31,654 27,678	340,317 257,009

2

昭和6年12月中 當所品種寸法別生産高 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	
棒鋼の部		75	193	乙形鋼		9	102	8	5	其他の部				
丸鋼	6,335	80	45	mm mm mm		9.5	3	9	11	鍛成品				
		90	7	100×50×40	45	10	331	12	3	坩堝鋼				
		100	38	計	45	11	5	電氣爐鋼						
		115	5	シートパイリング		12	241	普通鋼						
	10	6	3 3/8"	23	400×150	1,648	13	19	計					
	12	5	計	3,578	計	1,648	14	77	計					
	13	10	スケルプ		15	3	15	3	耳付編板					
	15	9	57mm	120	16	155	16	47	計					
	16	23	72	229	18	47	18	47	計					
	18	2	90	547	19	39	19	39	二級品					
19	3	112	460	20	116	20	116	大形切板						
21	26	142	593	22	77	22	77	大形耳付						
22	3	計	1,949	25	178	25	178	スプ						
23	2	棒鋼計 16,156		28	34	28	34	計						
24	1	型鋼の部		32	13	32	13	計						
25	4	等邊山形鋼		35	8	35	8	計						
28	7	20mm	15	40	22	40	22	計						
30	15	25	288	50	5,016	50	4	計						
32	30	30	539	耳付鋼板		計		鋼板計 13,663						
34	5	40	269	6mm	220	軌條の部		計						
36	79	45	32	8	66	軌條		計						
50	133	50	125	9	240	6k		計						
55	236	65	147	10	17	10		計						
60	193	75	134	12	338	12		計						
65	86	100	582	13	8	15		計						
70	231	計	2,131	16	37	22		計						
75	217	不等邊山形鋼		計	926	30		計						
80	106	50×35	3	ユニバーサル平鋼		45		計						
85	5	100×75	191	8mm	509	計		合金鐵						
90	16	150×90	108	10	602	附屬品		計						
95	53	150×100	1,603	15	1	スパイキ		計						
100	154	4"×3 1/2"	173	20	2	計		鋼塊						
200	10	5×4	32	計	1,114	電氣鐵板		計						
計	8,005	溝形鋼	2,110	鋼板(0.7mm以下)		0.35mm		計						
角鋼		1	6	鋼板(0.7mm超)		0.43		計						
	38mm	158	12	22	3mm		計		線釘材の部					
	44	11	14	21	1		6	線材		計				
	50	218	1.5	2	1.6		170		5.5mm		計			
	55	6	1.85	204	1.85		100		計		製釘材			
	65	180	2	18	2		95		5.5mm		計			
	75	2	2.3	324	2.3		294		計		鋼片			
	96	2,026	2.5	1	2.5		1		計		普通鋼塊			
	100	23	3	16	3		16		計		電氣爐塊			
	計	2,624	3.2	857	3.2		857		計		坩堝鋼塊			
平鋼		3.5	14	3.5		14		計		鑄造鋼塊				
	19mm	724	4	238	4		238		計		計			
	22	764	4.5	345	4.5		345		計		鋼片			
	25	1,075	5	44	5		44		計		向部			
	32	503	5.5	18	5.5		18		計		向部			
	38	35	6	243	6		243		計		計			
	44	1	7	39	7		39		計		短尺及屑鋼			
	50	66	8	192	8		192		計		計			
	55	2	工形鋼		計		計		計					
	60	68	計		計		計		計					

昭和6年12月中 神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		3/4	1	75	23	3×3	5	電氣鐵板		鋼管の部	
丸鋼		7/8	1	90	14	4×3	4	0.014"	152	鋼管	
3/16"	33	1	1	等邊山形計 47		計	32	0.35mm	36	1/4	2
1/4	6	1 1/4	1	不等邊山形鋼		シート		計	183	3/8	5
5/16	2	2 1/2	1	造船材料		パイピング		縞鋼板		1/2	11
3/8	7	計	64	mm mm		計	149	5mm	7	3/4	73
1/2	2	平鋼		180×90	21	型鋼計 627		計	7	1	348
5/8	12	1/2	5	計	21	條鋼計 1,693		鉄力板		1 1/4	63
3/4	7	5/8	12	造船材料		板鋼の部		lbs		1 1/2	38
7/8	2	3/4	33	nm mm		鋼板(0.7mm超)		100	219	2	78
1	2	7/8	21	75×65	4	1/16"	330	170	602	2 1/2	11
1 1/8	5	1	29	90×65	1	3/32	41	mixed	195	3	22
1 1/4	11	1 1/4	25	100×75	19	1/8	348	oil size	1,635	3 1/4	21
1 3/8	2	1 1/2	6	100×90	7	3/16	5	others	714	3 1/2	26
1 1/2	24	1 3/4	39	120×75	4	1/4	3	計	3,365	4	39
1 3/4	4	2	19	120×80	1	3/8	2	鋼板計 7,212		5	5
2	6	2 1/4	34	120×100	3	1/2	2	軌條及附屬品の部		6	99
2 1/4	4	2 1/2	24	130×75	18	5/8	2	軌條		6 3/8	76
2 1/2	6	3	20	140×75	4	1mm	1	lbs	27	8	57
2 3/4	2	3 1/4	3	150×100	3	1 1/8	2	其 他	13	216mm	1
3	27	3 1/2	18	計	61	1 1/4	1	計	40	267	1
3 1/2	1	4	35	不等邊山形計	82	1 3/8	1	繼目板		其 他	25
4	24	4 1/2	3	溝形鋼		1 1/2	2	重量不明	3	Pipe fitting	12
4 1/4	9	5	15	3 1/2 × 2"	29	2	10	計	3	鋼管計 1,013	
4 1/2	9	5 1/2	3	mm mm		2 1/2	1	線材の部		其他鋼材の部	
5	12	6	41	65×42	1	3	1	線材		特殊鋼	
5 1/8	1	6 1/4	2	90×14	2	7	1	4mm	102	丸鋼	146
5 1/4	11	6 1/2	41	180×25	3	16	3	5	347	鋼鋼板	33
5 1/2	11	計	41	計	33	13	2	5.58	576	其他	45
6	11	平鋼計	421	造船材料		14	2	7	31	鋼板其他	4
6 1/4	11	六角鋼		15" × 4"	6	15	52	8	41	計	269
6 1/2	11	計	21	其他	2	15 1/2	1	9 1/2	52	外輪	
7	11	半圓鋼		溝形計	43	16 1/2	2	8	41	計	15
7 1/2	11	其他の棒鋼		工形鋼		17	16	8	41	其他鋼材計	284
8	11	計	6	15" × 5 1/2"	31	18	1	9	52	鋼材計	15,819
6mm	185	計	4	計	31	19	4	9 1/2	52	鋼總計	
19'05	1	造船材料		球山形鋼		20	2	10	100	シート	1,985
20'637	1	計	41	造船材料		20 1/2	3	6	52	パイ	
26'987	1	計	41	mm mm		其 他	3	5	3,626	ビレット	259
計	509	棒鋼計	1,066	230×90	74	鋼板(0.7mm以下)		4	46	フエロク	26
造船材料		型鋼の部		300×90	21	B.W.G.No.		3	126	ロム其他	
2 1/2	41	等邊山形鋼		6" × 3"	39	23	1	2	103	ケツクス	50
計	41	1"	25	7×3	20	24	8	1	101	チール	
丸鋼計	550	1 1/4	5	8×3	32	26	63	0	114		
角鋼		1 1/2	10	10×3 1/2	17	27	28	00	77		
3/16"	5	計	40	計	203	28	232	000	29		
1/4	1	造船材料		丁形鋼		30	1,902	其 他	51		
5/16	2	1 1/2" × 1 1/2"	10	1 1/2" × 1 1/2"	10	30 1/2	554	線材計 5,574			
3/8	17	2×2	5	2 1/2 × 2 1/2	8	其 他	20				
7/8	15	65mm	10			計	2,808				
1 1/2	15										
3/8	4										

昭和6年12月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品 種	區 分	神 戶	大 阪	横 濱	12月計	前月計	本年累計	前 年 同期累計
丸 角 平 等 不 溝 工 鋼 板(0.7mm超) 〃 (0.7mm以下) 鉄 軌 線 シ ー ト パ イ リ ン ク 鋼 其 他	鋼	365	23	164	552	1,233	9,139	19,553
	鋼	64	—	—	64	329	1,520	2,219
	山	288	—	136	424	570	5,294	9,301
	山	87	—	—	87	24	526	8,036
	等	82	—	—	82	—	312	4,914
	山	6	31	6	43	—	481	4,809
	形	31	—	—	31	180	1,774	8,699
	板(0.7mm超)	394	200	252	846	460	6,642	36,536
	〃	1,040	1,284	432	2,806	1,999	19,937	29,451
	(0.7mm以下)	818	143	2,406	3,367	3,250	43,947	51,539
	力	8	27	5	40	829	4,389	9,531
	條	2,561	1,227	1,786	5,574	4,276	60,772	60,623
	材	149	—	—	149	1,025	7,398	28,849
	管	175	517	318	1,010	491	9,165	23,823
其他	281	18	448	747	735	7,915	20,384	
計		6,349	3,470	6,003	15,822	15,451	176,271	318,267
硫 石 ナ ク	炭 フ レ	20,751	—	9,147	29,898	31,710	164,448	
	リ ン ル	—	—	—	—	5	106	
		—	1	—	1	35	2,205	
		31	—	8	39	61	593	

昭和6年10月中民間棒鋼生産高表 (單位噸)

寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數
丸	鋼	42mm	211	3¼	238	19	8	平	鋼	1½"	208
6mm	256	44	282	4"	179	22	7	17mm	1	1¾	268
8	45	48	27	4½	8	25	11	19	6	2	186
9	5	50	17	5	66	23	6	22	60	2¾	41
12	5,095	57	23	5½	131	32	11	25	52	2½	68
16	3,961	60	14	二級品	156	38	7	32	19	三級品	61
19	3,660	65	28	三級品	192	44	3	38	347	計	2,314
22	3,262	70	7	計	24,009	50	18	44	84		
25	3,178	75	12	角	鋼	65	4	50	426		
28	735	80	2			70	4	65	397		
32	833	83	9	9mm	1	75	6	70	12		
34	12	90	20	11	2	83	4	75	41	棒	鋼
36	120	95	6	14	1	100	14	90	33	合	計
38	210	100	4	16	551	計	658	130	3		26,981
40	7	3¼"	948					150	1		

昭和6年11月中民間棒鋼生産高表 (單位噸)

寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數
丸	鋼	28	1,016	70	14	4½	197	30	4	100	22
6mm	327	32	1,008	75	15	5	31	32	9	115	6
8	249	34	84	80	2	5½	42	38	453	125	5
9	1	36	71	83	5	二級品	161	44	97	160	7
10	1	38	663	90	12	三級品	314	50	734	1¾	63
12	5,417	40	8	95	5	計	34,869	55	9	2	243
16	3,322	42	78	100	12	角	鋼	57	8	2¾	53
19	3,467	44	239	3¼"	494	38mm	8	63	5	2½	302
20	1	50	48	3½"	118	計	8	65	631	二級品	1
22	3,439	57	8	3¾"	242	平	鋼	80	1	三級品	85
25	3,559	65	30	4	169	22	2	90	7	計	2,877
						25	70	95	10	棒鋼合計	37,754

販賣旬報 第186號 昭和7年2月12日

製鐵所販賣部

昭和6年の鋼材需給——一擧170萬噸臺に落つ

1) 昭和6年の鋼材供給總數量 170餘萬噸一數量から見た昭和6年の鐵鋼界は正に10年の昔に逆轉した。

其激減振りに驚異を以て見られた昭和5年に比し復たも50萬噸を減じ、200萬噸臺を割ること實に25萬噸と云ふ數量となつた。

今迄に於ける最高記録の昭和4年の255萬噸に比すれば、80萬噸の減少即ち其2/3に激減した。

のである。誠に哀れと云ふも愚かなりである。

2) 扱て内容に移つて先づ總計欄の3箇年を比較して見るに、條鋼小計は昭和4年の6割6分昭和5年の8割3分に減じた、條鋼100萬噸と云ふ鐵鋼常識は最早通用しなくなつてしまつた。

鋼板類の減少率は割合に少なく未だ65萬噸臺を保つて居る。之に反し昭和6年の最大の減少率を見せたのは軌條類で、昭和4年度及5年に比し殆んど1/3に近い數量となり、數量としても20萬噸と云ふ老大な減少である。特に重軌條の不振は驚くべきものである。

外輪車軸は數量が僅少であるから暫く措き、其次にある線材が他鋼材の激減と云ふ趨勢に逆行して只獨り前年に比し5萬噸と云ふ増加を見て居ることは誠に不可思議千萬で、徹底的に惑星の本領を發揮し然も此數量を擁しながら現在に於ては高値の最高峯にあると云ふ如何にも皮肉な現象を呈して居る。

鋼管も甚だしい減少である。再び條鋼に歸つて其細部を點檢して見よう。丸鋼は昭和5年の減少は甚だしかつたが昭和6年には2萬噸足らずしか減少して居ない、此邊が最小限度の需要なら文句はないが、近來の市場の傾向から眺めると必ずしもそうと許りは思はれない、鋼材界の王座として是が安定しないと他の品種に影響するから是非此品種だけは安定させたいものである。此度の機會に他の鋼材は總て60圓臺、70圓臺へ飛躍したのに獨り丸鋼ベースのみ未だ50圓臺に彷徨して居るのは、畫龍點睛を缺く憾がしてならぬ。

角、平の内角の命脈は特に心細くなり遂に3萬噸臺を割つてしまつた。但しこれには此表に入つて居ない伸鐵の進出と云ふことを考慮する必要がある。

型物中では等邊が一等確りとして此不況裡に未だ11萬噸臺に踏み留つて居る、不等邊は角と同様需要が特に減じたのか3萬噸に満たない數量でも猶冴えない商状を續けて居る。

工形と溝形の此數量と現在の市況を照合して見ると溝

形が比較的永い間好調を保つて居ると、工形の小さいのは此數量が反映して居るのが窺はれる。シートパイピングが2萬噸も減少したのは當所の進出によつて今迄の外注品のストックが消化されたのが影響したと見るが正當ではあるまいか。

鋼板に移つては0.7mm以上は前年に比し復も12萬噸も減少した、此は他の型物等の減少の原因と同様に昭和6年に於ける建築界の不振を物語る材料であらう。之に反して0.7mm以下は一味徒黨の線材に敗けてはならじと前年及前々年よりも増加と云ふ變調を呈して遂に27萬噸を突破するに至つた。怪物と嘔はるゝも無理からぬ事である。

電氣機械の悲運は珪素鋼板を半減以下に追ひ込み只の5,000噸と云ふ惨めなものとし、海運界の衰微は縞鋼板を4,000噸に満たないものにしたが、鉄力だけは大した減少も見せずに頑張つて居る。

3) 次に輸入の欄を見るに、1時は100萬噸近い數量を誇つた輸入は昭和6年に於て遂に20萬噸に減じた。前年の54.3%に當る數量である。軒並の慘減でどれをどうと云ふことも出来ない程であるが條鋼の減少は特に甚だしく其内でも工形を除けば型物は殆んど無に近いと云ふてよい。

鋼板で0.7mm超の昭和4年の7萬5,000噸と昭和6年の8,900噸はたつた2年で世界が異なる様な違い方である。線材だけは未だ6萬噸臺に在つて輸入品中の白眉となつて居るが、先の短かい命と思へば腹も立つまい。

鋼管の1萬噸も甚だしい減少のものと考えられるが内地生産者は今年も根絶する考だと云ふ事を今日聞いて誠に力強く思つた。あらゆる方面が此意氣込で行けば鋼材の輸入は未だ未だ減少の餘地があらう。

4) 内地生産高に就ては輸入とは反對に其減少率は誠に微々たるもので、部分々々に就ては5割減もあらう、4割減もしたろうが總括して前年の87%を悠々保持して居る、此の數量を見れば獨逸や白耳義などは單位が異なるであろうが、彼等に比して決して苦しいなどは義理にも云はれない様にも感ぜられる。各品目の一つ一つに當つて見てもこれは酷いと思はれるのは軌條位のもので其他はあまり目立つものはない様である。

然らば民間と製鐵所の比較はどうか、製鐵所が前年の72.2%に減じたのに比し民間102.8%と増加したのである。

民間増加の主なるものは丸鋼、平鋼、鋼板及線材である。但し丸鋼には6年に於て吾孀精鋼の生産高18,864噸が加つて居る。特記すべきは鉄力の485噸である、こ

(第 1 表)

過去三箇年鋼材需給

品 種	區 分	製 鐵 所			民 間			内 地 生 産 高		
		4 年	5 年	6 年	4 年	5 年	6 年	4 年	5 年	6 年
條 鋼	丸角鋼	123,351	83,563	67,448	365,963	251,946	256,799	489,314	335,509	324,247
	平邊鋼	17,728	24,300	23,915	6,781	5,418	3,390	24,509	29,718	27,305
	等邊山形鋼	66,362	45,763	21,884	14,935	14,935	25,436	81,297	60,698	47,320
	不等邊山形鋼	53,479	60,792	49,709	91,823	86,155	62,523	145,302	146,947	112,232
	工溝形鋼	41,698	27,902	20,932	6,153	8,208	7,472	47,851	36,110	28,404
	シートパイプ	25,226	27,907	33,705	—	—	—	25,226	27,907	33,705
	スケルトン	35,759	38,912	22,473	—	—	—	35,759	38,912	22,473
	その他	—	—	3,673	—	—	—	—	—	3,673
	小計	4,431	2,159	2,961	7,527	5,400	10,597	11,958	7,559	13,558
	計	368,034	311,298	257,347	493,182	372,062	366,217	861,216	683,360	623,564
	鋼 板	鋼板 0.7mm 超	165,790	154,762	72,504	175,594	163,661	157,021	341,384	318,423
〃 0.7mm 以下		28,015	28,607	37,783	143,498	186,877	216,034	171,513	215,484	253,817
硅素鋼板		3,350	5,349	2,757	—	—	—	3,350	5,349	2,757
鋁力鋼板		4,358	4,440	3,454	—	—	—	4,358	4,440	3,454
ユニバーサル鋼		17,884	22,430	27,811	—	—	485	17,884	22,430	28,296
その他		784	2,916	8,489	—	—	—	784	2,916	8,489
小計		—	—	41,450	—	—	—	—	—	41,450
計	220,181	218,504	194,248	319,092	350,538	373,540	539,273	569,042	567,788	
軌 條 及 附 屬 品	重軌條	242,760	254,357	84,727	—	—	—	242,760	254,357	84,727
	輕軌條	18,659	29,196	17,924	1,365	3,174	2,370	20,015	32,370	20,294
	小計	18,308	17,726	6,959	—	—	—	18,308	17,726	6,959
計	279,718	301,279	109,610	1,365	3,174	2,370	281,083	304,453	111,980	
外 線 鋼 其 他	輪、車	8,406	6,381	4,201	7,959	9,279	7,791	16,365	15,660	11,992
	軸材管	61,764	76,603	94,875	6,026	45,828	80,917	67,790	122,431	175,792
	其他	—	—	—	76,269	88,337	63,780	76,269	88,337	63,780
計	3,735	3,704	2,745	3,540	2,931	1,726	7,275	6,635	4,471	
總 計	941,838	917,769	663,026	907,433	872,149	896,341	1,849,271	1,789,918	1,559,367	

備考 1. 民間生産高は主として鐵鋼協議會調査による 2. 輸入高は神戸、大阪、横濱三港輸入高を大藏省統計による數

れは中山薄鐵板工場の進出で數量こそ僅であるが新記録と云ふべきものである。

製鐵所に於て最も減少したのは重軌條で前年の殆んど 1/3 となつた、それには前年の持ち越しの多い事も祟つては居るだろうが何と云ふても鐵道省方面の極端な需要減を物語るものである、之れに亞では厚板の激減である、需給のバランスを取る爲めに如何に大なる犠牲を當所が拂つたと云ふことを窺ふに充分であろう。

5) 此度は第 2 表に眼を移して戴きたい。

これは内地生産と輸入の關係、換言すれば如何に外注防遏が徹底して、我國鐵鋼の獨立が確立しつつあるやを示したもので、滿洲に上海に國事多端の折柄誠に有意義で且是を通覽すれば力強く感ずる何物かがあると共に過去の努力の感謝將來の奮闘を期する材料とならう。

即ち 4、5 年前迄は製鐵所、民間、輸入で鐵鋼界の天下を 3 分して相譲らなかつたものであるが昭和 5 年の輸入は 17% に減じ、昭和 6 年に至つては内地生産は遂に 88.5% に増加したのである。

細部に至つて見ても條鋼の輸入は 6% となり、鋁力の

ある鋼板類さへ 12.1% に減じ、其外としては線材が稍出色の外見るべきものが無くなつたのである。然も其線材も鋁力も遠からぬ將來に於て殲滅さるべき運命にあると思へば誠に痛快である。

4、5 月積先物協議會—据置

月日場所 2 月 9 日製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、六社及東西問屋

主なる議事 4、5 月積當所先物賣出に關する件

1、値段 爲替は前月より稍軟調なるに、外注値段の cost も漸落を報じ何とも心許なき折柄なれば、今日以上に値下げも困難なると共に値下げすべき理由なきを以て全部据置を希望、製鐵所も之を容れ据置きと決定した。猶希望條項に對しては 9×150×75mm のロールの完成迄は従前通り 3/8 〃×6 〃×3 〃にて引受をなすこととした。

鋁力板協議會—3、4 月積賣出し

月日場所 2 月 9 日製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、四社及關係問屋

主なる議題

高比較表

第2表 百分率比較表

輸入			總計			4年			5年			6年		
4年	5年	6年	4年	5年	6年	内地	輸入	需給高	内地	輸入	需給高	内地	輸入	需給高
62,794	22,256	12,526	552,108	357,765	336,773	88.6	11.4	100	93.8	6.2	100	96.3	3.7	100
5,761	2,531	2,078	30,270	32,249	29,383	81.0	19.0	100	92.2	7.8	100	92.9	3.1	100
15,897	10,626	7,249	97,194	71,324	54,569	83.6	16.4	100	85.1	14.9	100	86.7	13.3	100
22,319	9,237	720	167,621	156,234	112,952	86.7	13.3	100	94.1	5.9	100	99.4	0.6	100
5,589	5,677	427	53,440	41,787	28,831	89.5	10.5	100	86.4	13.6	100	85.2	14.8	100
29,000	10,064	2,430	54,226	37,971	36,135	46.5	53.5	100	73.5	26.5	100	93.3	6.7	100
11,418	5,565	661	47,177	44,477	23,134	75.8	24.2	100	87.5	12.5	100	97.1	2.9	100
28,551	33,380	10,162	28,551	33,380	13,835	—	100.0	100	—	100.0	100	26.5	73.5	100
—	—	—	—	—	10,647	—	—	—	—	—	—	100.0	—	100
9,411	7,011	2,025	21,369	14,570	15,583	56.0	44.0	100	51.9	48.1	100	86.1	13.9	100
190,740	106,397	38,278	1,051,956	789,757	661,842	81.9	18.1	100	86.5	13.5	100	94.2	5.8	100
75,099	45,174	8,908	416,483	363,597	238,433	82.0	18.0	100	87.6	12.4	100	96.3	3.7	100
79,835	27,445	18,586	251,348	242,929	272,403	68.2	31.8	100	88.7	11.3	100	93.2	6.8	100
10,247	7,450	2,700	13,597	12,799	5,457	24.6	75.4	100	41.8	53.2	100	50.5	49.5	100
3,381	2,205	355	7,739	6,645	3,809	56.3	43.7	100	66.8	33.2	100	90.7	9.3	100
81,564	68,843	47,749	99,448	91,273	76,045	18.0	82.0	100	24.6	75.4	100	37.2	62.8	100
—	—	—	784	2,916	8,489	100.0	—	100	100.0	—	100	100.0	—	100
—	—	—	—	—	41,450	—	—	—	—	—	—	100.0	—	100
250,126	151,117	78,298	789,399	720,159	646,086	58.3	31.7	100	79.0	21.0	100	87.9	12.1	100
17,129	6,180	5,180	259,889	260,537	89,907	93.4	6.6	100	97.6	2.4	100	94.2	5.8	100
16,356	6,080	782	38,371	38,450	21,076	55.0	45.0	100	84.2	15.8	100	96.3	3.7	100
1,442	887	315	19,750	18,613	7,274	92.7	7.3	100	95.2	4.8	100	95.7	4.3	100
34,927	13,147	6,277	316,010	317,600	118,257	88.9	11.1	100	95.9	4.1	100	94.7	5.3	100
2,745	813	577	19,110	16,473	12,569	85.6	14.4	100	95.1	4.9	100	95.4	4.6	100
157,474	68,685	65,167	225,264	191,116	240,959	30.1	69.9	100	64.1	35.9	100	73.0	27.0	100
63,049	28,189	10,225	139,318	116,526	74,005	54.7	45.3	100	75.8	24.2	100	86.2	13.8	100
2,457	4,609	3,695	9,732	11,244	8,166	74.8	25.2	100	59.0	41.0	100	54.8	45.2	100
701,518	372,957	202,517	2,550,789	2,162,875	1,761,884	72.5	27.5	100	82.8	17.2	100	88.5	11.5	100

量を品種別に按分したるもの

内地需給總高を 100 とす

3、4月積先物協議會						
品	種	分	河岸着値段			備考
			入電	沖着	爲替\$35-1/8	
角鋼	ベース		\$ 16.50	¥ 66.44	62.00	据置
平鋼	(本所分野)		16.50	66.44	62.00	〃
大型	山形鋼		16.20	65.60	62.00	〃
工形	鋼		16.20	65.60	62.00	〃
溝形鋼	(吋寸法)		19.00	73.44	71.00	〃
〃	(耗寸法)		16.15	65.46	62.00	〃
丸鋼	ベース		16.70	66.99		
〃	9mm		17.50	69.05		
中小型	山形鋼		16.20	65.60		
鋼板	6mm以上		18.50	72.04		
〃	4.5mm		18.50	72.04		
〃	3.2mm		19.25	74.14		
〃	2.3mm		22.50	88.25		
〃	1.6mm		23.10	89.94		
線材	B.W.G.No.5		25.50	86.19		
黑薄鋼板		£10-10-0		137.25		
鋇力板	170 lbs	1-8-9		15.40		
〃	100 lbs	0-16-0		8.60		

3、4月積鋇力賣出に關する件

1、値段 外注値段は別項記載の通り他鋼材が軟調なるに不拘、強調を告げるも、獨逸物二級品の脅威もあり市中も實需の消化力の微弱なる爲め伸惱みの現状なるを

以て前月据置との買手側希望あり、當所としては外注追従の大原則に基き之を基調として進退したきも一氣に値上げするは困難なる事情もあるを以て彼是取捨して15圓と8圓40錢位を申出でたるも纏らず、遂に來月更に値上げの餘地を残す爲め左記値段に決定した。

100封度 8圓20錢 170封度 14圓50錢

2、數量 1,200噸乃至1,300噸

3、締切 13日 猶、買手側希望條項に對しては

二級品値引率の件は2分引

其他の件は精々注意すべしと云ふ回答があつた。

外注値段

I. C. Tin-lined

Cif. Price	£ 0-15-10	£ 1-8-9
Ex. @% 1/8	¥ 7.81	¥ 14.19
Interest 1.3%	10	18
Import Duty	53	90
Landing charges	08	15

¥ 8.52 ¥ 15.42

製鐵所鋇力板(3、4月積)協議會議題

1、二級品値引率の件

以上は是非共 3 歩(3%)引に御願申上度

1、品質の件 最近鉄力板の品質著しく低下し一級品として通り難きもの不慮混入致し居り此儘にて推移せば將來御所製品の名聲にも關する事故特に御注意願度尙同時に 1、2、3 級品の選別に付ても嚴重御勵行願上候

1、最近 $\frac{1}{2}$ " 程度の寸足らずのもの可成り混入され居り前項品質の件と共に御注意被下度

1、積遅れ品の生ぜざる様願度 以 上

小型山形鋼共販理事會—3、4 月積賣出し

月日場所 2 月 5 日製鐵所東京出張所

出席者 製鐵所、釜石及三井物産代表者

主なる議事 3、4、月積賣出しの件

例により引合高、其他の報告あり、問題の既約定積出殘高に就ては 12、1 月積迄の分は製鐵所、釜石合せて僅々 10 數噸を餘すのみとなり積出状態は全く順調となつた。

次で値段の協議に入つたが、外注値段 C. I. F. は大部分が前月より復々下落となつたが、未だ建値との間には相當の値開きを有し、市中相場とも大體隔絶した高値にあるを以て逐次鞆寄せの重味より、1、2 圓の値上げなるを至當とし別項の通り決定した。

外注値段及決定値段

mm mm	C. I. F.	河岸着 (Ex. @35)	決定値段	前月比較
3×20	\$ 18.90	¥ 73.35	¥ 75.00	2 圓上げ
3×25	18.30	71.67	69.00	1 圓上げ
3×30	17.70	69.98		
3×40	17.70	69.98		
5×30	17.70	69.98	61.00	2 圓上げ
5×40	17.20	68.57		
4×45	17.00	68.01		
$\frac{1}{4}$ "×1 $\frac{1}{2}$ "	17.00	68.01		
6mm×45mm	16.75	67.31		

Import duty ¥ 18.63

Int. & charges ¥ 1.90

賣出數量 申込状況を見たと決定することとして發表せず。

締 切 2 月 13 日

中板共販理事會—3、4 月積賣出し

月日場所 2 月 6 日製鐵所東京出張所

出席者 東海、製鐵及四社

主なる議事 3、4 月積中板賣出しの件

1) 値 段 外注値段は前月に引き続き軟調を報じ、其の爲め建値との鞆寄せとなりたるも、市中は需給の統制と 1 月に入つて特殊の需要もありて高値唱を見せ可なり値開となりまた需要期も目前に迫り居る 際なれば其點も考慮に入れ前月より若干の値上げをなすことにした。

2) 數 量 例により發表せず。

3) 締 切 2 月 12 日

		外 注 値 段	
		$\frac{3}{4}$ Shipment	
Plate	4.5mm	\$ 18.45	¥ 71.72
	3.2mm	19.10	73.51
	2.3mm	22.20	87.19
	1.6mm	22.85	89.00
		Ex. Rate \$ 35 $\frac{1}{4}$	

中型山形鋼共販理事會—3、4 月積賣出し

月日場所 2 月 8 日製鐵所東京出張所

出席者 日本鋼管、東海、製鐵及定期關係者

主なる議題 3、4 月積賣出しの件

1) 値段 他の鋼材と同様に、外注値段は前月より稍軟調を告げ加之内地市場も先行入荷を氣構へて不況、一沫不安の空氣も見ゆるを以て据置と云ふ 買手側希望ありたるも、あまりに退嬰的なるは市場の趨勢を挫折せしむるのみならず、外注値段とは未だ可なりの開きある故、兎に角値上げをなすを至當とする 賣手側の意見となり、其の程度は買手の希望も參酌し、猶將來に値上げの餘地を残す意味より、今月は前月の 1 圓値上げの次記に決定した。

等邊山形鋼60圓(1圓上げ) 不等邊山形鋼61圓(1圓上げ)

外 注 値 段

Equal Angles	
(50mm×60mm—100mm×100mm)	
Cif. Yokohama Price	
	\$ 16.20
Ex. \$ 35 $\frac{1}{2}$	¥ 46.12
Duty	18.63
Int. & charges	1.90
	¥ 66.65 per ton of 1,016kgs.
	65.60 " " " 1,000kgs.

線材共販理事會—3、4 月積賣出し

月日場所 2 月 9 日 於製鐵所東京出張所

出席者 神戸製鋼、製鐵及五社側

主なる議事 3、4 月積線材賣出しの件

買手側よりの希望

(イ) 値 段 別表外注より見て 3 月船積ものは 86 圓にして内地市場も現在 88 圓から 90 圓内の高値を呼んでゐるが外注 3 月到着のものには未だ 73 圓以下のものもあり是等を考慮して製鐵所物 83 圓、神戸製品は 50 錢安の 82 圓 50 錢に決定願度

(ロ) 數 量 數量は 1 萬噸以内にて賣出願度

以上買手側の希望に對し直にメーカー側より次の通り回答と共に決定を見た即ち値段は買手側の要望通り 製鐵所製品 83 圓 神戸製鋼製品 82 圓 50 錢 數量は買手側の 1 萬噸希望に對しメーカー側としては

手持品の漸次處分として、I 割増の 1 萬 1,000 噸を主張し相當買手側よりの 1 萬噸要望は強きものもあつたが、結局一先づ賣出しは 1 萬 1,000 噸とし申込状況を見ることとした、而して引受けは決して 1 萬 1,000 噸を越さざることとし、次の通り決定した。

製鐵所製品 6,500 噸 神戸製鋼製品 4,500 噸

(ハ) 締切 10 日正午

Quotation of march Shipment

C. I. F.	\$	25.50
Ex. @ \$ 35 ¼ (spot)		72.34
Int. 1.4%		1.01
Duty. 18%		13.02
Charge.		1.30
(Per 1,015 kgs)	¥	87.67
(Per 1,000 kgs)	¥	86.37

1 月中三港輸入概況

1) 昭和 7 年 1 月の三港輸入は嵐の前の無気味な静寂に始まる。線材を除けば本月は前月に比して約 250 噸の増加で條鋼が 1,000 噸増加し鋼板と鋼管が 1,000 噸減少し軌條とシート、パイリングで 250 噸の増加となつてゐる

而も全體に於ては前月に比し約 3,200 噸の減少である、線材の行方こそ氣持の悪い限りである。

2) 條鋼類中丸鋼は 100 mm 以上 200 噸。100 mm 以下 50 噸までが 120 噸。6 mm が 140 噸。造船材料 65 噸。其他 440 噸で斯うして見れば大して無理な數量とも思はれない、6 mm は全部横濱に入荷され同一法としては昨年来依然として比較的大きな數字を示して居り ロッドの躍騰に引摺られて相場も中々強調なので今後此程度を前後するとしても總體的には大して問題ではなく其他の物は製鐵所民間共に充分統制力を有して居るので是れ以上大量の輸入の懸念はなくむしろ多少の減少を豫想してよいのではあるまいか。

工形は一昨年 6 月以來の多量であるが今までが少な過ぎたので而も本月の輸入品も當所では製作せぬ寸法と云ふ特別な物に多いと云ふ點からも極度に不況でない限り大して多過ぎると云ふ數量ではないが是れも亦多少減少すると思はれるので條鋼類として若干の行き過ぎと言ひ度い。

鋼板は愈々輸入が仕にくくなつたとの事である 今後は從來のやうに月々倍増、半減の御天氣を繰り返へさぬやうにし度いものである。

軌條はエレベーター用と 30 ポンド物を實需として同一手筋によつて輸入されシートパイリングも必需品として獨逸から外商の名に於て持つて來たのだが何れも大して問題となるものではない。

鍼力板は泰然として 3,000 噸臺を越して居る、致方が

ない物の一つである。

3) 總じて輸入に走り悪い日本の鐵鋼界となつたのは事實で誠に喜ばしい事である。茲に無気味なのは線材である、前月に比して約 3,500 噸の減少で過去 2 箇年間に於て 5 年 11 月の 2,017 噸に次ぐ少量である。一方目下東西の市況は共にロッド躍騰を報じて居る。

條鋼が増し、鋼板が減り何々が何うしたと言つても今後輸入數量の大局には大して影響が無いので蛟龍一度金の玉を握つて躍り出したときにバランスが壊れるのではあるまいか。線材の沈黙に平和な新年を迎へたが線材の跳梁に惱まされ度くないものである。

ブラツセル齋藤囑託通信 2 月 6 日 入電

市場落着かず氣配弱含みにして相場小甘し。

棒鋼	大型山形	中小型山形	工形 (B.S)	鋼板 (3/16")
2-13-0	2-12-0	2-13-0	2-12-0	3-3-0

1 月 15 日 發信 市況は底入りの幾分見直し模様にてメーカーも此上の安値なしと見てか、2 有力なるものは市場より遠のき形勢傍觀致居候

されば前値に比し 1、2 志高にて棒鋼 £2-14-6 より 2-15-0、ルクセムブルグ、メーカーは 2-16-0 を唱へ居候一方巴里にては過日よりの國際租鋼 カルテル改造委員會開かれ討議事項も餘程具體化し近く何等かの決定を見るものゝ如く又同時に共販組合組織に就ても半製品並に工形鋼の部は近く結成を見るに至るべき形勢なれば彼れは是れ強氣材料に見られ申候

東西市況一日和見

政戦にも氣乗薄、滿洲、上海にも至極冷靜の態度を持して居る鐵鋼界は昨冬來高値に引き上げられただけで賣行は一行不振の儘、沈黙裡に推移して居る、今の處は懐具合もどうやら安神の程度にあるからよい様なものゝ先行の多量の入荷を豫想しては一寸心配にはなるが、扱て今の内にどうしようと云ふ決心までには至らず、従つて値段も大して動かず各の立場から判断した強弱硬軟織り交ぜて總て日和見の態と云はれて居る。

東京市況

丸鋼 線材の奔騰を移して 6mm は俄然硬化して 8 圓臺に躍進し 9mm は品薄の割には伸惱みを續けて居るが其原因は此邊の値段になると伸鐵の採算點と混戦状態になるからとも云はれて居る。12mm はメーカーが好んで造らぬ爲め品薄となつて小堅くベースは安い賣物だけはどうやら姿を消した様であるが大口径需要が一向興らぬので、先高と安値契約の減少と云ふ好材料を加味して漸く 5 錢搦みの上伸を見せて未だ 6 圓臺には昇り得ない模様

と云はれて居る。中丸以上は入荷一巡に弱含みを見せて居る。

角、平鋼 角は 1"、1¼"、1½" など品薄に高値を呼んで居るが特に大阪方面の手持薄から 大部西路へ引かれて小堅いが其他は變らず、平は民間分野物は丸鋼等の生産の爲め許一寸平迄手が廻らぬ感があつて落付きと云はれて居る。

型鋼 等山の 6×50 は愈々品掠れとなつて 8圓臺に跳び上つたが近々入荷氣構へに短かい命を 楽しんで居る其他ベース物は弗々入荷の報があつて小甘い 商状と見られ大形型物は昨冬の思惑買の入荷を豫想して 警戒氣分が出初めて伸び悩みを傳へられ等邊大形 58 圓の賣物が出たなどいさへ云はれて居る、不等邊は小さいものは品薄で小堅いが大きなものは手持も多く荷捌き 陸張りで鈍調溝は先行は弱含みなるも今の處は腕りとして 活氣もあるが工形は 3×4、3×6 など品薄で好調なるを除いては其他保合。

鋼板 中板の昇騰氣勢益々鮮かに 16×4×8 は遂に 10 圓 3、50 錢と近來にない相場を現出したが 入荷の報もあるので餘命幾何もあるまいと見られて居る、23、32 も 1'6 の高値に連れて上伸したと見られ、45 は入荷氣構に弱含みと云はれ 6'0 は手持状態によつて區々を 傳へられ 9'0 以上不變。

大阪市況

丸鋼 つながれてゐた不景氣網が切れて、それ景氣がよくなつたとばかりに猫も 杓子も駆けだした形である。平坦な道を駆けるつもりであらうが行く先には色々な 障礙物が横はつてゐる様である。過般東京方面は思惑買のため目下市場満腹の態にて相場も 下押氣味にあると云はれ従つて大阪もこの惡材料を移して不冴 殊にベース物は市中 6 圓 20 錢唱へなるも實際の取引は 6 圓榻みに出來て居る模様である。50mm 以上の中丸は弗々入荷ある

も順次消化されて先づ無難に推移し相場も 6 圓 50 錢見當である。大丸は外註杜絶其他市中品切れと 相俟つて許底堅き商状を呈してゐる。

角、平鐵 ½" 角は伸鐵物の荷廻り順調にて頭打ちとなり其他のものは總じて品掠れにて相場は 6 圓 70 錢カツチリである、殊に 32mm は皆無とあつて 7 圓を呼ばれて居る。平鋼小型ものは伸鐵 其他民間メーカーよりの出廻りよろしく相場は不伸 6 圓 20 錢見當を唱へられて居る。3" 以上のものは手當薄にて 6 圓 50 錢以上に商内成立の様子である。

型鋼 小型アングルは既報の如く凡調を辿つてゐる中型アングルは一般問屋筋には手持薄なるも 某社に相當多量のストックあり且つ同社は賣惜みの 態度を持しており従つて市場は氣迷ひ商状と云はれてゐる。大型アングルは特筆すべき材料なく至極平凡である。溝型鋼、工型鋼共市中品豊富にはあらざるも相場は 當所發表値段を標準に小口商内ながら弗々散見せられ、 市場は至極冷靜を保つてゐる。

鋼板 1、2 中板は前旬來大した變化もなく堅調を辿り就中 3'2 は各寸法共異常な活況を呈し相場も 8 圓 4、50 錢見當を唱へられてゐる。厚板は前報と變らず目先需要期接近と共に強含みである。

線材 飛ぶ、躍る、躍る、我がロッド界の反騰振りには實に素晴らしいものがある上海事件 勃發以來製品界が俄然活況を呈しこれにつれて問屋筋の思惑等も 手傳つて正にはねあがつた。

のびるほどのびて數咲け梅の花

鉦力板 上海事變にて多少思惑買があり従つて相場もジリ高歩調を辿つてゐる。然し乍ら昨今は地方筋に臺灣方面よりの需要殆んどなく他にも何等手掛りになる新規材料見當らず平々凡々の無味乾燥の 市況から商内も閑散の域を脱せず。

東京大阪市中相場 {東京 2月8日 大阪 2月5日

丸	鋼		平	鋼		不等邊山形鋼			
	東京	大阪		東京	大阪	東京	大阪		
6mm	8'00	7'60	¼" × 1½" ¼" × 2 ¼" × 3 ⅜" × 4 ½" × 4	6'50	6'30	¾" × 2' × 3'	6'50	6'50	
9	6'30	6'20		"	"	¾" × 3 × 4	6'30	6'30	
12	6'20	6'15		6'20	6'50	¾" × 3½ × 5	"	"	
19	5'95	5'10		7'00	"	¾" × 4 × 6	6'20	6'40	
25	"	"		6'30	"	½" × 4 × 6	"	"	
50	6'60	6'30	等邊山形鋼 mm mm mm		溝形鋼				
65	"	6'40							東京
角	鋼		6 × 50 × 50	8'00	6'60	¼" × 2' × 4'	6'70	6'50	
	9	6'60	6'50	6 × 65 × 65	6'30	6'40	0'312 × 2½ × 5	7'00	6'90
	12	6'40	"	9 × 75 × 75	"	"	¾" × 3 × 6	7'30	7'20
	15	6'50	6'30	9 × 130 × 130	6'20	"	¾" × 3 × 8	7'00	6'50
	19	6'20	6'50	12 × 130 × 130	6'30	6'50	¾" × 3½ × 10	7'30	7'00
	38	6'60	6'80	15 × 150 × 150	6'20	6'40	¾" × 3½ × 12	"	"

工形鋼			鋼板			薄鋼板 (13枚)		
	東京	大阪		東京	大阪	米英八幡	東京	大阪
1/4" x 3" x 6"	6:50	6:40	1'6mm x 3' x 6'	9:60	9:60	鐵力板	—	—
3/8 x 6 x 12	6:40	6:50	1'6 x 4 x 8	10:30	9:40		49	49:5
0.23 x 4 x 8	6:50	6:40	3.2 x 4 x 8	8:00	8:00	50	49	
0.35 x 5 x 12	"	6:80	3.2 x 5 x 10	8:10	8:50	線材	170lbs	18:00
0.36 x 5 x 10	"	7:00	6.0 x 4 x 8	7:60	7:40		100	9:50
			6.0 x 5 x 10	7:70	"	170	14:50	17:50
			9.0 x 4 x 8	7:40	7:30	100	8:00	9:75
			9.0 x 5 x 10	"	"	170	14:50	14:40
						100	8:00	8:40
						170	14:50	14:60
						100	8:00	8:70
						No. 5	88:00	89:00

備考 單位 100 疋につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。
線材は 1 疋當り。鐵力板は 1 箱當り。

昭和 6 年 1 月中 三港 鋼材 輸入 數量 表

(單位 噸)

區分	品種	神戸	大阪	横濱	一月計	前月計	本年累計	前年同期累計
丸角平等不溝工鋼板 (0.7mm 超) 鐵軌線シートパイリング鋼其	鋼	754	207	116	1,077	552		434
	鋼	102	—	8	110	64		54
	山	476	—	181	657	424		174
	山	—	11	—	11	87		—
	形	5	4	10	19	43		59
	形	428	—	—	428	31		396
	板 (0.7mm 超)	694	22	137	853	846		193
	板 (0.7mm 以下)	346	1,457	434	2,237	2,806		401
	力	1,872	28	1,450	3,350	3,367		2,311
	條	71	—	148	219	40		103
材	1,044	202	860	2,106	5,574		2,901	
管	207	—	43	250	149		866	
他	149	260	99	508	1,010		693	
計	360	19	395	774	747		472	
		6,508	2,210	3,881	12,539	15,822		9,159
硫磺	炭	13,119	—	10,432	23,551	29,898		615
フタ	酸	10	—	—	10	—		28
ナレ	ン	102	18	53	173	1		—
ク	ル	16	—	5	21	39		17

昭和 7 年 1 月 當所 製品 揚地 別 發送 高

(單位 噸)

揚地別	品名	鋼材			鋼片及鋼塊	副製品	合計	揚地別	品名	鋼材			鋼片及鋼塊	副製品	合計
		官廳	民間	計						官廳	民間	計			
内地向 當所 京濱 阪神 伊勢 東海 山陰 北陸 内海 沿岸 奥羽 關門 九北 樺太	渡	301	4,533	4,834	11,903	13,939	30,676	内地向	2,850	69	2,919	—	—	2,919	
	地方	396	18,476	18,872	688	65	19,625	朝鮮地方	—	—	—	—	—	—	
	地方	441	17,177	17,618	49	35	17,702	臺灣地方	14	10	24	—	—	24	
	地方	9	3,100	3,109	—	21	3,130	其他	—	—	—	—	—	—	
	地方	48	44	92	—	—	92	計	7,676	43,916	51,591	12,931	17,366	81,888	
	地方	955	—	955	140	1,037	2,132	輸出向	—	92	92	—	—	92	
	地方	—	—	—	—	—	—	滿關地方	—	—	—	—	—	—	
	地方	2,662	348	3,010	151	2,269	5,430	支那地方	—	—	—	—	—	—	
	地方	—	158	158	—	—	158	計	—	92	92	—	—	92	
	地方	—	—	—	—	—	—	合計	7,676	44,008	51,683	12,931	17,366	81,980	

昭和6年12月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本年累計
條及竿鐵 (丸角及平形にして、 徑又は幅15mmを 超えざるもの)	85	5	214	298	9	—	31	8	—	—	—	650	7,365
〃 (丸、角、平の もの其他)	147	10	449	225	36	—	6	111	—	—	3	987	12,144
〃 (テ ア ン グ ル 形 及 其 他)	120	—	56	—	—	—	—	—	—	—	—	176	2,014
〃 (其 他)	2	—	263	31	—	—	—	—	—	—	1	297	12,614
レ — ル	—	—	261	—	—	—	—	42	—	—	—	303	5,095
フイッシュ、プレート	—	—	9	—	—	—	—	3	—	—	—	12	290
ワイヤード ロッド (巻きたるものに して徑5mmを 超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	103
〃 (巻きたる もの其他)	—	995	1,294	504	42	26	156	2,407	—	—	72	5,496	60,950
鐵板 (金屬を鍍せざるものに して厚0.7mmを 超えざるもの)	86	—	66	—	10	—	20	45	—	—	—	227	2,305
〃 (金屬を鍍せざるものに して厚0.7mmを 超えざるもの其他)	2,451	101	513	—	—	—	—	39	—	—	—	3,104	16,253
〃 (金屬を鍍せざるものに して厚3mmを 超えざるもの)	13	—	241	268	8	—	20	69	—	—	—	619	4,447
〃 (金屬を鍍せざ るもの其他)	13	—	325	—	2	—	2	—	—	—	—	342	4,162
〃 (錫鍍したるもの (葉鐵及葉鋼))	1,522	—	916	—	—	—	—	1,506	—	—	—	3,944	44,204
〃 (亞鉛鍍したるもの (其他卑金屬を 鍍したるもの))	—	—	11	—	—	—	—	41	—	—	20	72	1,057
鐵線	3	—	1,537	59	5	—	8	39	—	—	—	1,661	8,610
リ — ード・ワイヤ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9
鐵 リ ボ ン	105	137	166	103	38	—	75	2	—	—	—	626	5,191
帶 (箍 鐵)	73	976	1,011	4,971	—	—	—	23	7	—	125	7,186	36,571
パ ラ ゴ ン・ワイヤ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	132
線 索	21	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	25	348
擦 合 線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43
バー ブ ド・ツイ ス ト・ワイ ヤ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 筒 及 管	7	—	300	—	—	—	1	707	—	—	—	1,015	9,411
特 殊 鋼(稅表一)	22	8	6	—	26	—	37	1	13	—	7	120	1,407
〃 (稅表二)	2	—	81	—	13	—	2	—	—	—	1	99	1,349
鐵 車 道 輪 車 及 車 軸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	149
鐵 車 道 車 輪 用 タイ ヤ ー	—	—	31	—	—	—	—	—	—	—	—	31	376
鐵 車 道 車 輪 用 グ ラ フ イ ツ ク	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	4,672	2,232	7,750	6,459	189	36	358	5,047	20	—	229	26,992	236,744
フ ェ ロ・マン ガ ニ ー ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	917
フ ェ ロ シ ル コ ン 及 シ リ コ ス ビ ー ゲ ル ア イ ゼ ン	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	52
其 他 の 不 可 鍛 成 鐵 合 金	1	—	—	—	—	—	22	—	—	—	—	23	295
シ ー ト バ ー (テ イ ン バ ー を 含 む)	—	198	2,252	792	—	—	—	—	—	—	—	3,242	21,442
イ ン ゴ ツ ト・フル ー ム・ ピ レ ツ ト 及 ス ラ ツ プ	—	—	203	52	—	—	—	—	—	71	—	326	1,594
ケ ツ グ ス チ ー ル 及 パ ン プ ス チ ー ル	—	—	3	—	—	—	34	—	—	—	10	47	265
其 他 の 塊 及 錠 鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11
合 計	1	198	2,458	844	—	—	56	1	—	71	11	3,640	24,576
銑 屑 及 故 鐵	406 7,373	—	— 150	— 2,076	—	— 1,082	1,051 —	113 8,260	23,520 3,447	23,696 11,014	10,350 5,116	59,136 38,518	367,799 267,849